

2024 富士山静岡空港 訪日客実態調査 報告書

2024（令和6）年4月

公益財団法人するが企画観光局



目 次

1. 調査の概要	2
(1) 富士山静岡空港の国際線就航状況	2
(2) 調査対象	2
(3) 調査実施日	2
(4) 調査場所	2
(5) 調査事項	3
(6) 調査方法	3
(7) 配付物等	4
2. 調査の結果	5
(1) 来場者の属性	5
① 搭乗便	5
② 性別	6
③ 年代	7
④ 居住地	8
⑤ 主な同行者	9
(2) 来訪特性	11
① 全体	11
② ソウル便	13
③ 高雄便	15
④ 上海便	17
3. 考察	19
参考	22
(1) 静岡県中部地域における消費額	22
(2) 山梨県における消費額	27

1. 調査の概要

(1) 富士山静岡空港の国際線就航状況

就 航 先	ソウル (韓国)	高雄 (台湾)	上海 (中国)	
空 港	仁川国際空港	高雄国際空港	上海浦東国際空港	
航 空 会 社	チェジュ航空	チャイナエアライン	中国東方航空 日本航空	
機 材	B737-800	B737-800	A320	
運 行 日	毎日運航	水・金・日	金・日	
静岡 出 発	便 名	JJA1281	CI7727	CES2020/JAL5647
	出 発 時 刻	18:50	17:50	15:40
	到 着 時 刻	21:15	21:00	18:15
静岡 到 着	便 名	JJA1282	CI7726	CES2019/JAL5646
	出 発 時 刻	16:05	12:50	11:10
	到 着 時 刻	18:00	16:50	14:45

(2) 調査対象

ソウル便、高雄便、上海便の一般搭乗者 【サンプル数 145 (日本在住者は含まない)】

(3) 調査実施日

2024年1月26日 (金)

2024年2月2日 (金)

2024年2月9日 (金)

(4) 調査場所

富士山静岡空港 国際線搭乗待合室



(5) 調査事項

- ・基本属性（居住国、性別、年代、同行者など）
- ・来訪特性（訪問回数、泊数、消費額、交通機関など）
- ・その他（来訪の動機、宿泊先など）

(6) 調査方法

富士山静岡空港の国際線搭乗待合室において、調査員が搭乗者にアンケートの依頼を実施した。回答者は、自身のスマートフォンまたは貸与したタブレットからアンケート回答用フォームにアクセスし回答を行った。

回答のインセンティブとして、静岡市オリジナルクリアファイル、富士山静岡空港 15 周年記念ステッカー及び一煎茶パックを配布した。



(7) 配付物等

① アンケート促進用チラシ



英語



繁體 (台灣向け)



簡體 (中国向け)



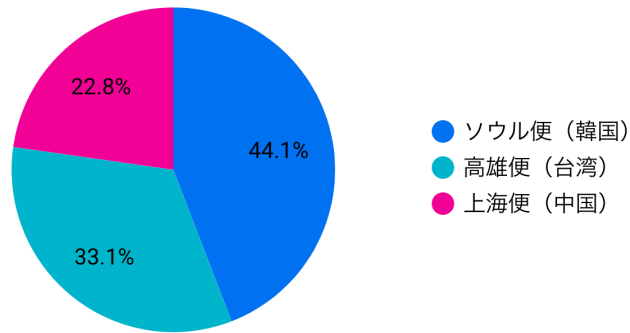
한글 (韓國向け)

2. 調査の結果

(1) 来場者の属性

① 搭乗便

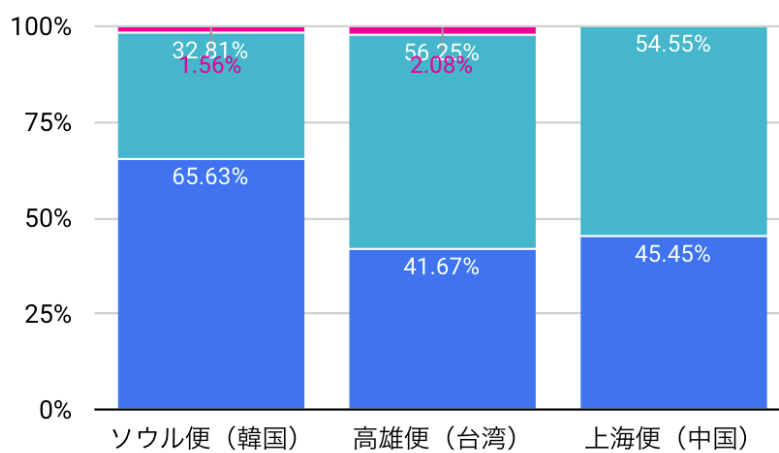
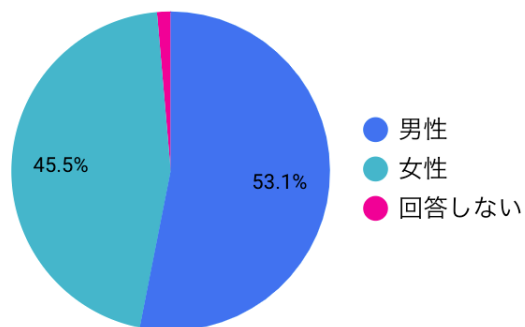
➤ 「ソウル便」が44%、「高雄便」が33%、「上海便」が33%の構成となった。



1. ソウル便 (韓国)	64
2. 高雄便 (台湾)	48
3. 上海便 (中国)	33
総計	145

② 性別

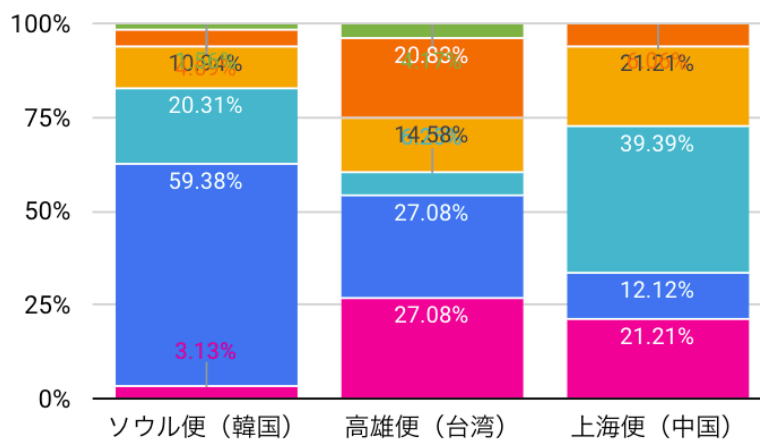
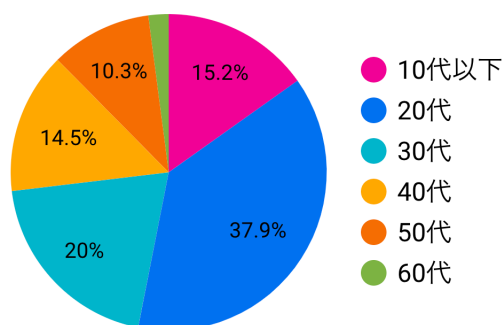
- 全体では、「男性」が53%、「女性」が46%、「回答しない」が1%の構成となった。
- 「ソウル便」は、「男性」の比率が高く66%となった。
- 「高雄便」は、「女性」の比率が高く56%となった。



性別	ソウル便 (韓国)	高雄便 (台湾)	上海便 (中国)	総計
男性	42	20	15	77
女性	21	27	18	66
回答しない	1	1	-	2
総計	64	48	33	145

③ 年代

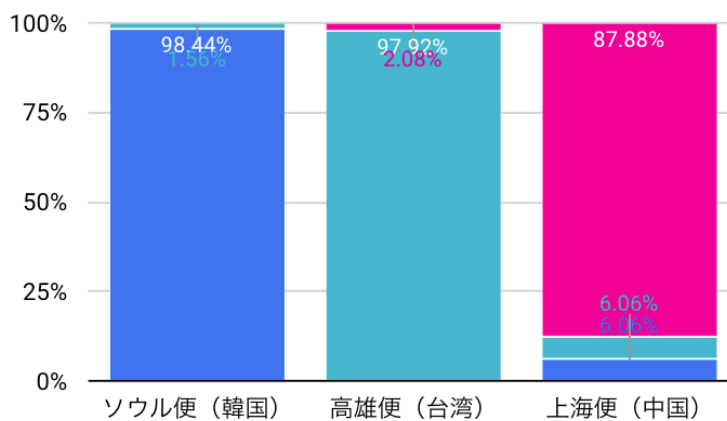
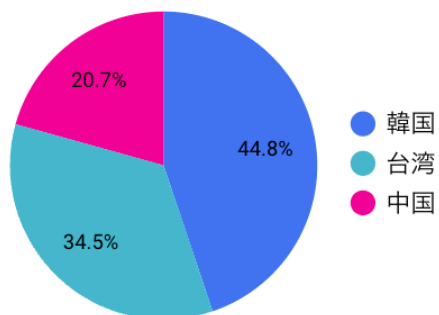
- 全体では、「20代」が38%、「30代」が20%などの構成となった。
- 「ソウル便」は、「20代」の割合が高く59%となった。
- 「高雄便」は、「10代」および「20代」がそれぞれ27%と高く、次いで「50代」が21%となった。
- 「上海便」は、「30代」が39%と最も高く、次いで「10代」および「40代」が21%となった。



年代	ソウル便 (韓国)	高雄便 (台湾)	上海便 (中国)	総計
10代以下	2	13	7	22
20代	38	13	4	55
30代	13	3	13	29
40代	7	7	7	21
50代	3	10	2	15
60代	1	2	-	3
総計	64	48	33	145

④ 居住地

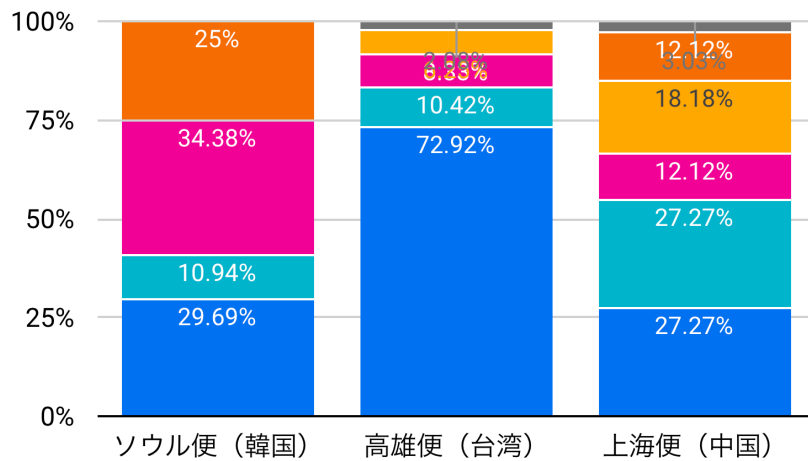
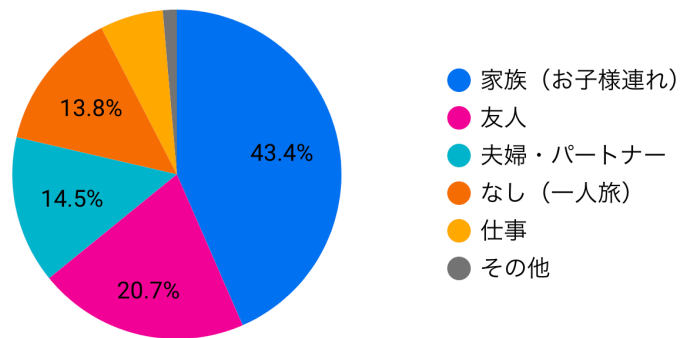
- 「韓国」が45%、「台湾」が35%、「中国」が21%となった。
- 一部の回答者が、居住地と異なる行き先の便に搭乗したものの、大多数は居住地と行先の便が一致した。



居住地	ソウル便 (韓国)	高雄便 (台湾)	上海便 (中国)	総計
韓国	63	-	2	65
台湾	1	47	2	50
中国	-	1	29	30
総計	64	48	33	145

⑤ 主な同行者

- 「家族（お子様連れ）」の割合が43%を占めた。
- 「ソウル便」は、「友人」が34%と最も高かった。
- 「高雄便」は、「家族（お子様連れ）」が73%と最も高かった。
- 「上海便」は、「家族（お子様連れ）」および「夫婦・パートナー」がそれぞれ27%となった。



主な同行者	ソウル便（韓国）	高雄便（台湾）	上海便（中国）	総計
家族（お子様連れ）	19	35	9	63
夫婦・パートナー	7	5	9	21
友人	22	4	4	30
仕事	-	3	6	9
なし（一人旅）	16	-	4	20
その他	-	1	1	2
総計	64	48	33	145

(2) 来訪特性

① 全体

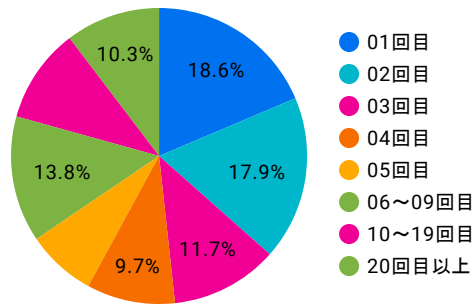
- 日本への訪問回数は平均で6.3回であり、来日が2回目以上のリピーターの割合が81%と大多数となった。一方で、当地域への来訪は80%がはじめて（1回目）となった。
- 山梨県への訪問率は35%となった。
- 日本への滞在期間中の平均宿泊数は6.8泊、うち静岡県中部地域における平均宿泊数は5.1泊、山梨県における平均宿泊数は2.1泊となった。
- 静岡県中部地域における一人あたりの消費額の平均は97千円であった。消費額の内訳のうち、買い物代が32千円と最も大きくなった。
- 静岡県中部地域における移動手段は、「路線バス・コミュニティバス」が最も多く65人、次いで「JR」が53人となった。
- 当地域の他に訪れた地域は、ゴールデンルート上の東京、名古屋が多かった。
- 当地域で訪れた観光スポット体験は「富士山」が60人で、2位の「温泉」及び「緑茶・抹茶」の4人を大きく引き離れた。
- 山梨県内で訪れた観光スポットで最も来訪数が多かったのは「河口湖」で35人であった。
- 当地域の呼称は「静岡」が54人で最も多く、次いで「富士山」が22人であった。
- 当地域の来訪の動機として最も多かったのは、「友人のすすめ」が7人、「WEB・SNS」および「安価な航空券」6人と多く、次いで「ランダムトリップ」が5人となった。
- 静岡県中部エリアの宿泊先は「ホテルアソシア」が8人と最も多かったが、その他のホテルにも一定程度分散した。

来訪特性

訪問回数

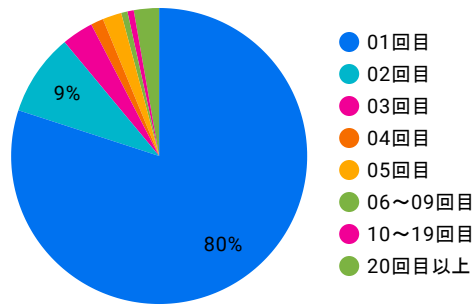
日本

平均 6.3回



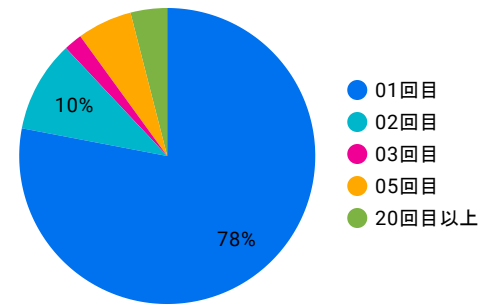
静岡県中部地域

平均 1.9回



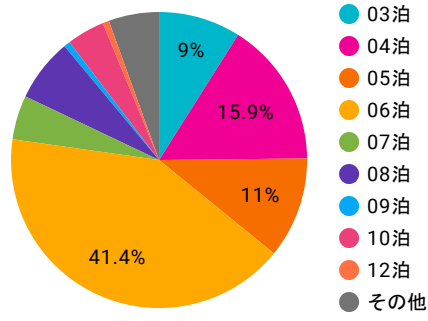
山梨県 訪問率 34.5%

平均 2.1回

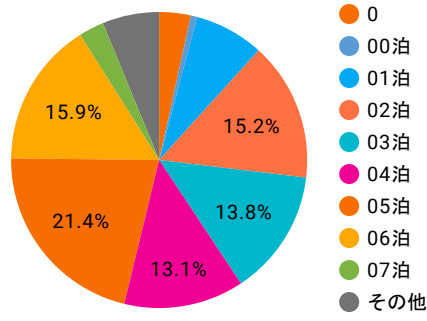


宿泊泊数

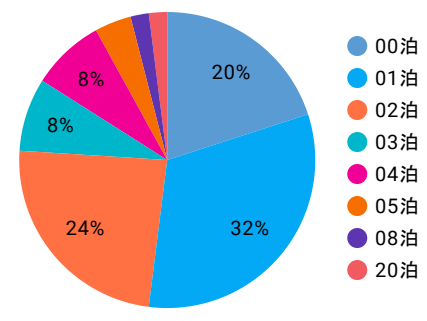
平均6.8泊



平均4.3泊



平均 2.1泊



消費額
平均値

合計

- 宿泊費
- 飲食費
- 娯楽サービス費
(入場料、体験料など)
- 買物代
- 交通費

¥97,408

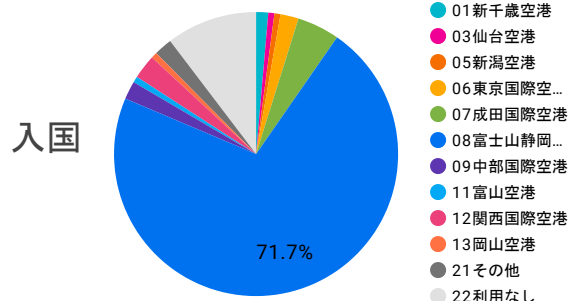
- ¥27,938
- ¥18,759
- ¥7,283
- ¥32,153
- ¥11,276

¥55,790

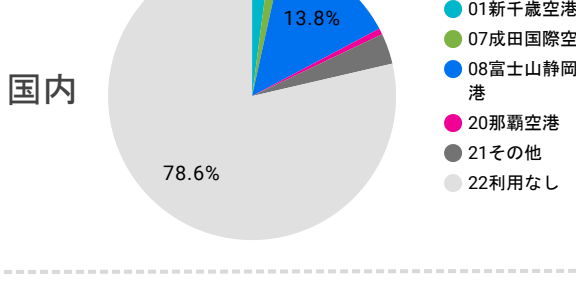
- ¥17,800
- ¥9,880
- ¥7,180
- ¥13,510
- ¥7,420

交通機関

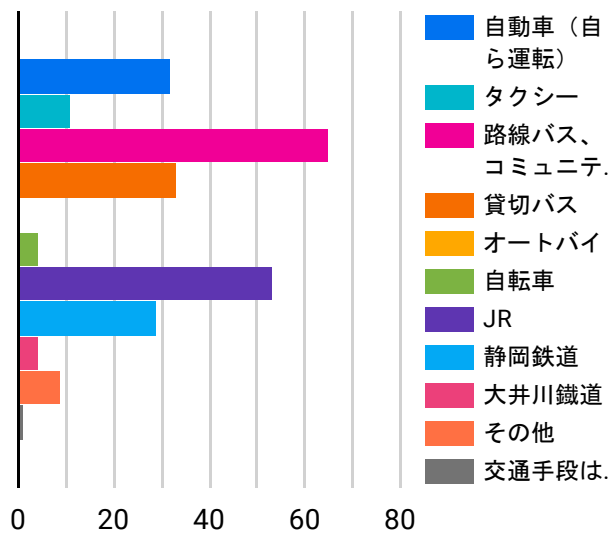
利用空港



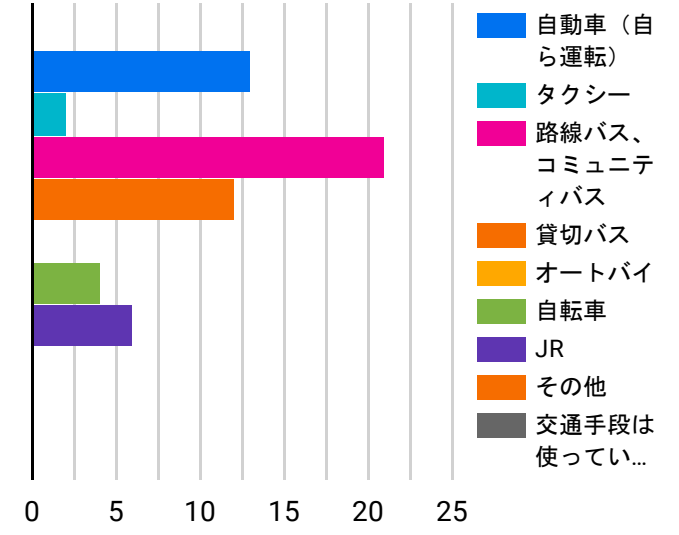
国内



交通機関 (中部地域)

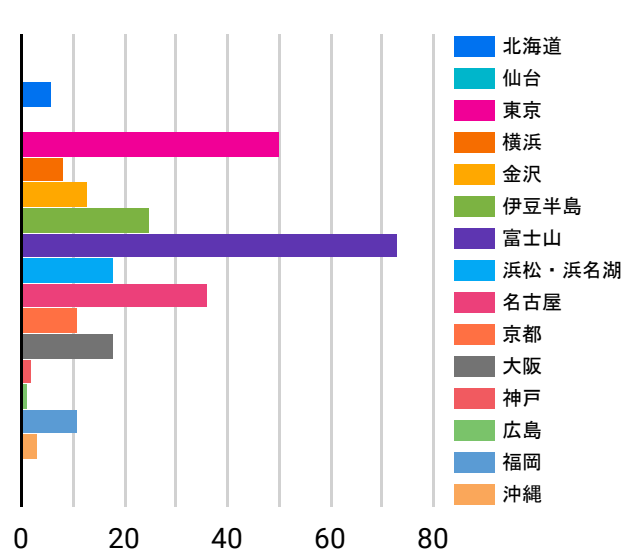


交通機関 (山梨県)

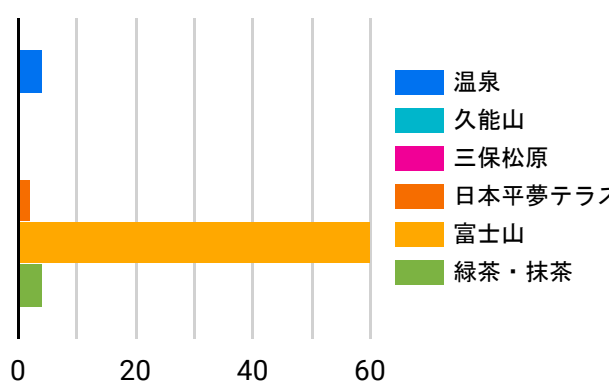


訪問地域

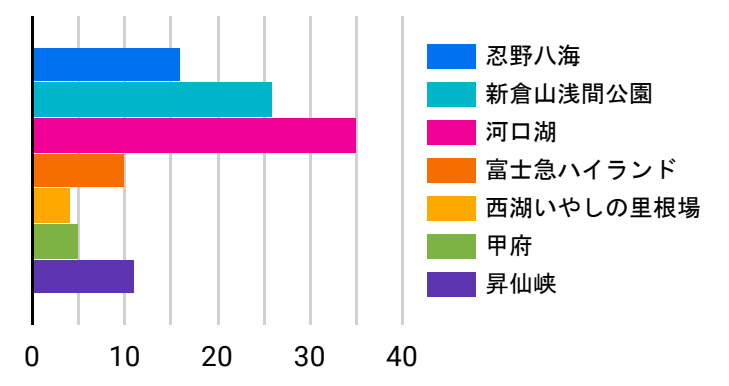
その他に訪れた地域



中部地域で訪れた観光スポット体験

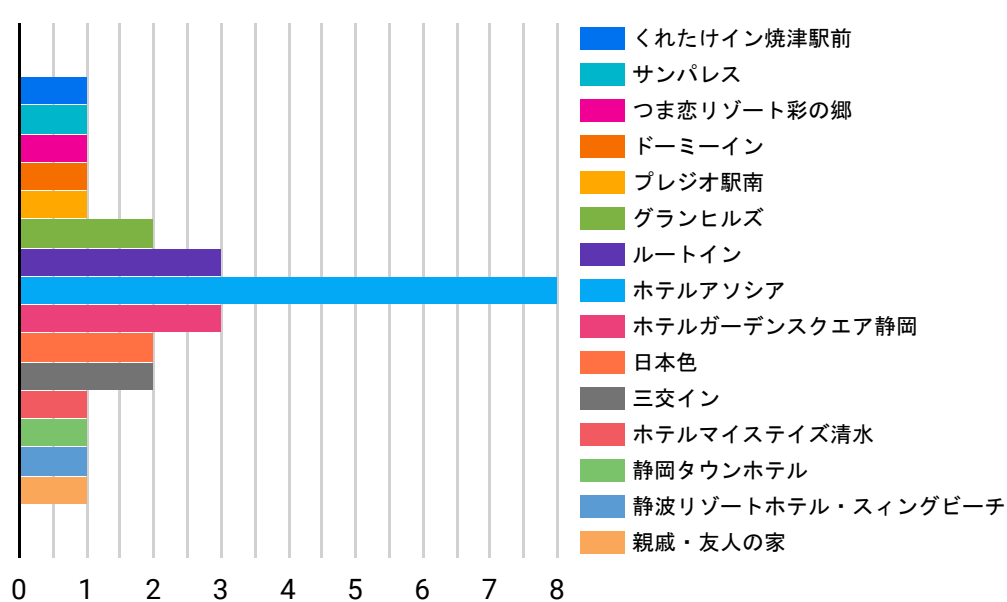


山梨県内で訪れた観光スポット

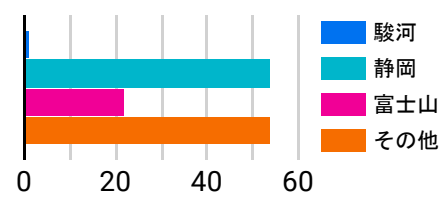


その他

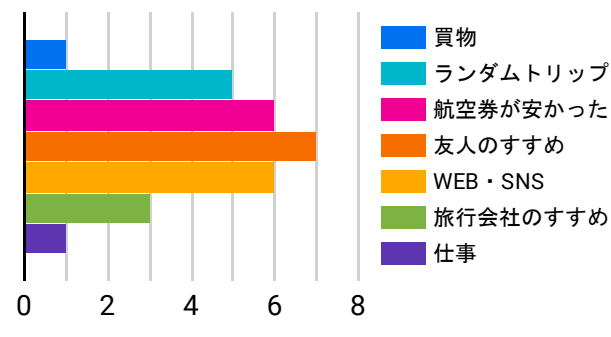
静岡県中部エリアの宿泊先



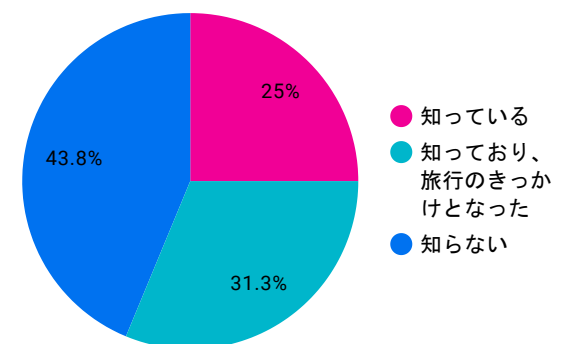
静岡県中部エリアの呼称



静岡県中部エリアの来訪の動機



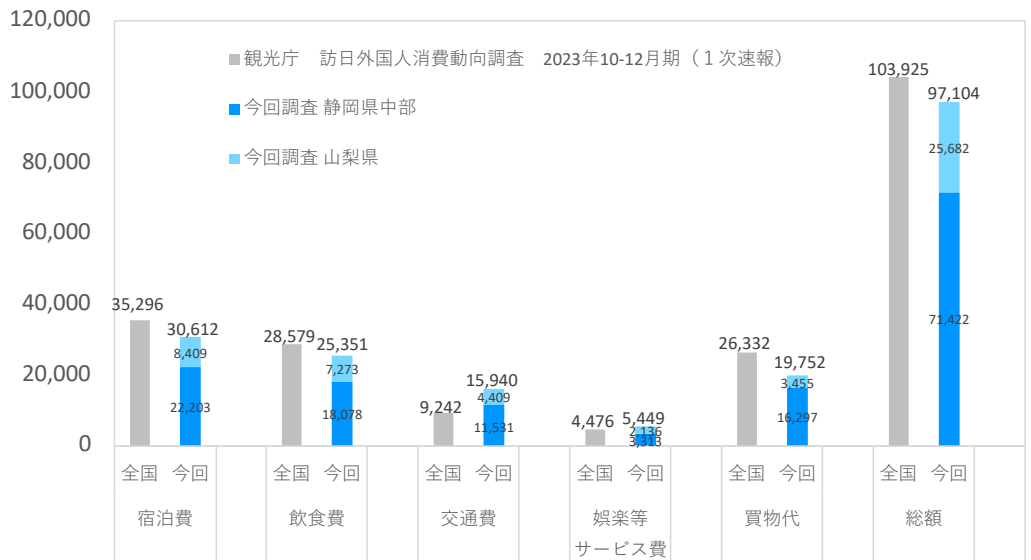
静岡市韓国向けブログの認知度



② ソウル便

- 日本への訪問回数は平均で5.7回であり、来日が2回目以上のリピーターの割合が88%と大多数となった。一方で、静岡県中部地域への来訪は91%がはじめて（1回目）となり、全体の80%と比較すると当地域へのはじめての来訪者の割合は大きくなった。
- 山梨県への訪問率は34%となった。
- 日本への滞在期間中の平均宿泊数は5.0泊、うち静岡県中部地域における平均宿泊数は3.5泊となり、他の便と比較して最も低かった。（観光庁 訪日外国人消費動向調査 2023年10-12月期（1次速報））
- 静岡県中部地域における一人あたりの消費額の平均は71千円で、他の便と比較して最も低かった。一方で、交通費の平均は12千円で最も大きかった。
- 静岡県中部地域における移動手段は、公共交通機関である「JR」が37人と最も多く、次いで「路線バス・コミュニティバス」が30人となった。山梨県においては「自動車」11人と最も多くなった。
- 山梨県内で訪れた観光スポットで最も来訪数が多かったのは「河口湖」で18人であった。
- 当地域の呼称は「静岡」が49人で最も多く、次いで「富士山」が8人と全体と比較して少数であった。
- 当地域の来訪の動機として最も多かったのは、「安価な航空券」及び「WEB・SNS」が6人と多く、次いで「友人のすすめ」が5人となった。
- 静岡市が実施している韓国向けブログは、「知っている」「知っており、旅行のきっかけとなった」があわせて56%で「知らない」の44%を上回った。

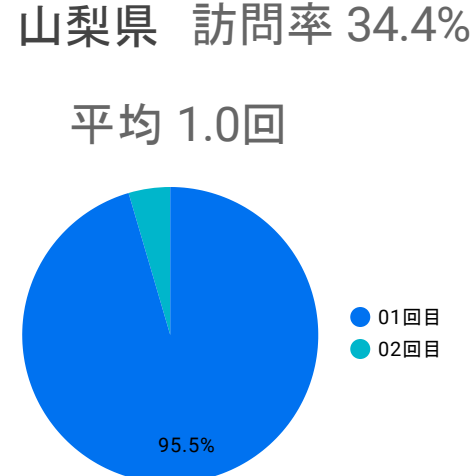
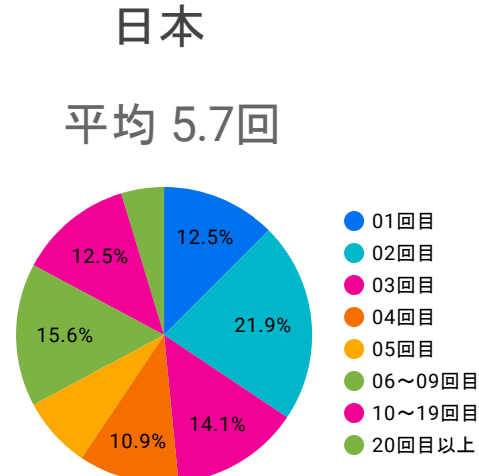
1人当たり費目別消費額



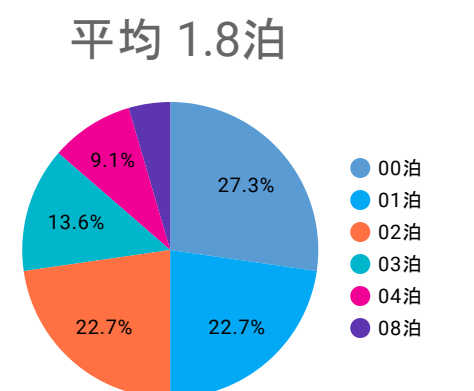
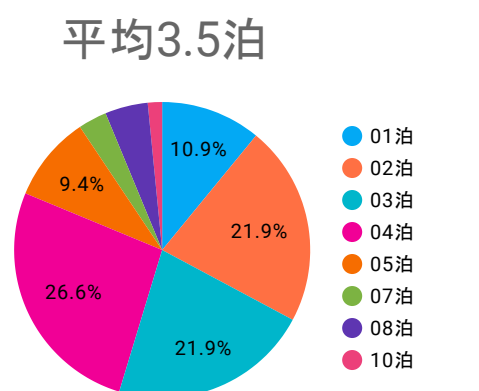
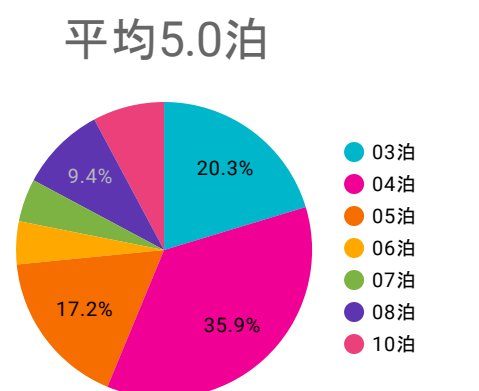
観光庁訪日外国人消費動向調査の費目としてある「その他」は、些少であること、また今回調査との比較から計上していない

来訪特性

訪問回数



宿泊泊数



消費額 平均値

合計

宿泊費	¥22,203
飲食費	¥18,078
娯楽サービス費 (入場料、体験料など)	¥3,313
買物代	¥16,297
交通費	¥11,531

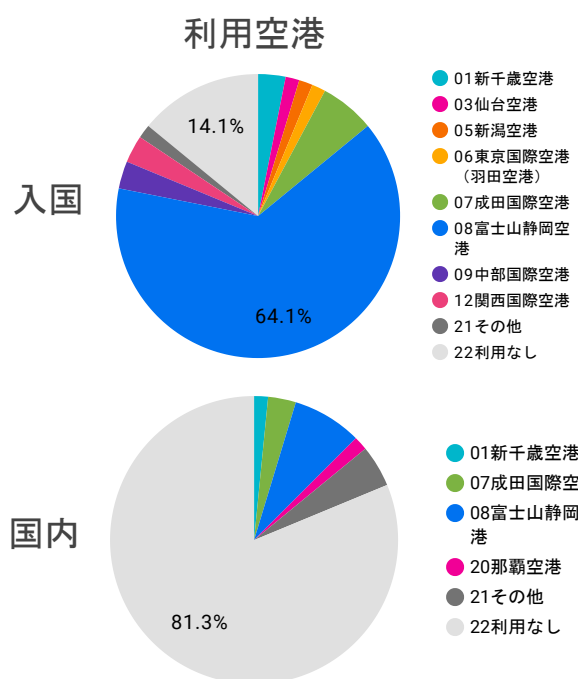
静岡県中部地域

宿泊費	¥8,409
飲食費	¥7,273
娯楽サービス費 (入場料、体験料など)	¥2,136
買物代	¥3,455
交通費	¥4,409

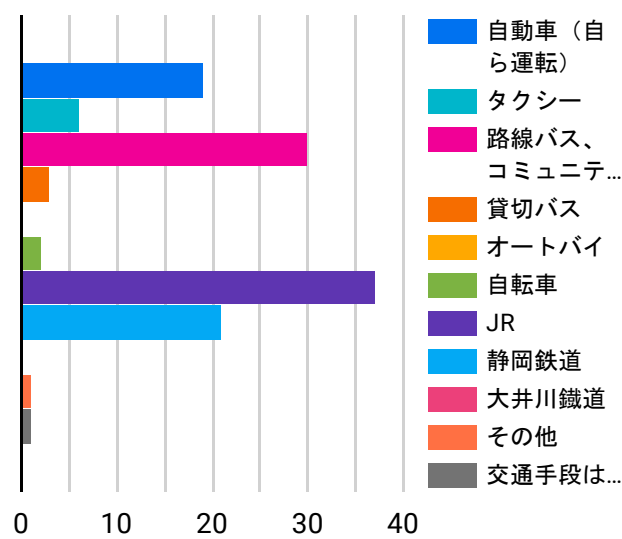
山梨県

宿泊費	¥8,409
飲食費	¥7,273
娯楽サービス費 (入場料、体験料など)	¥2,136
買物代	¥3,455
交通費	¥4,409

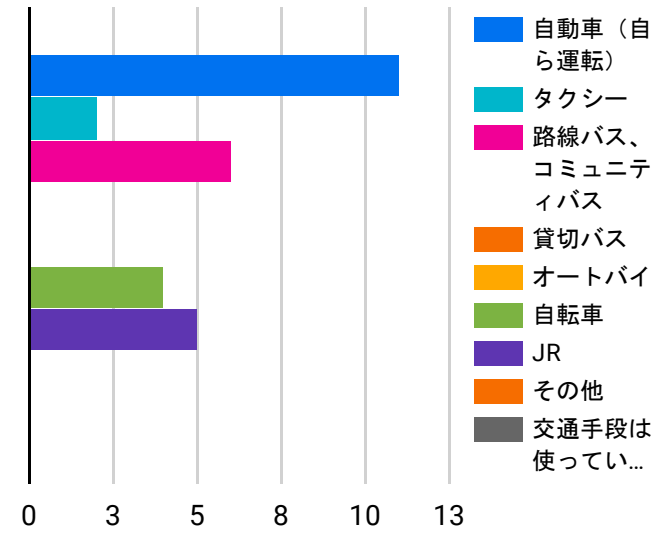
交通機関



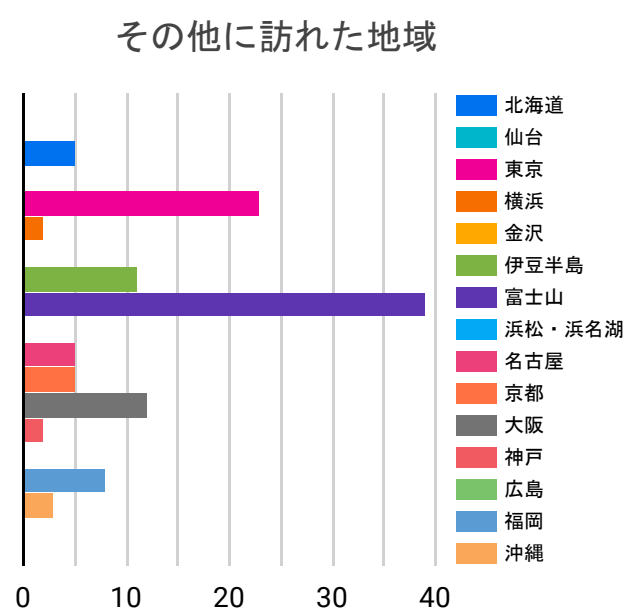
交通機関 (中部地域)



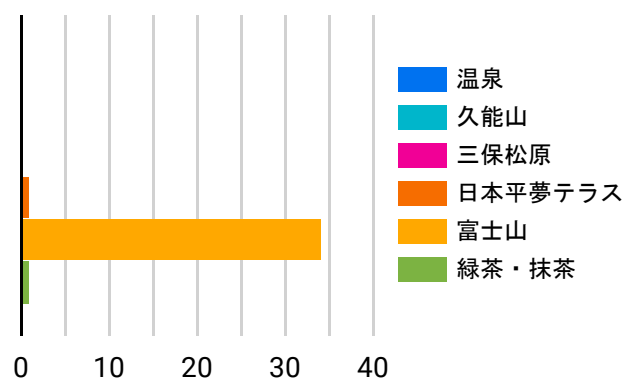
交通機関 (山梨県)



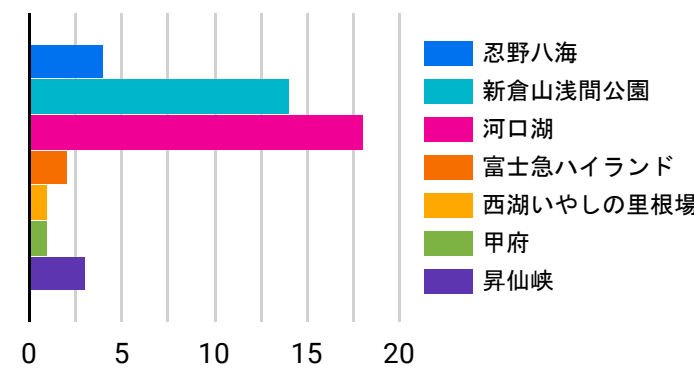
訪問地域



中部地域で訪れた観光スポット体験

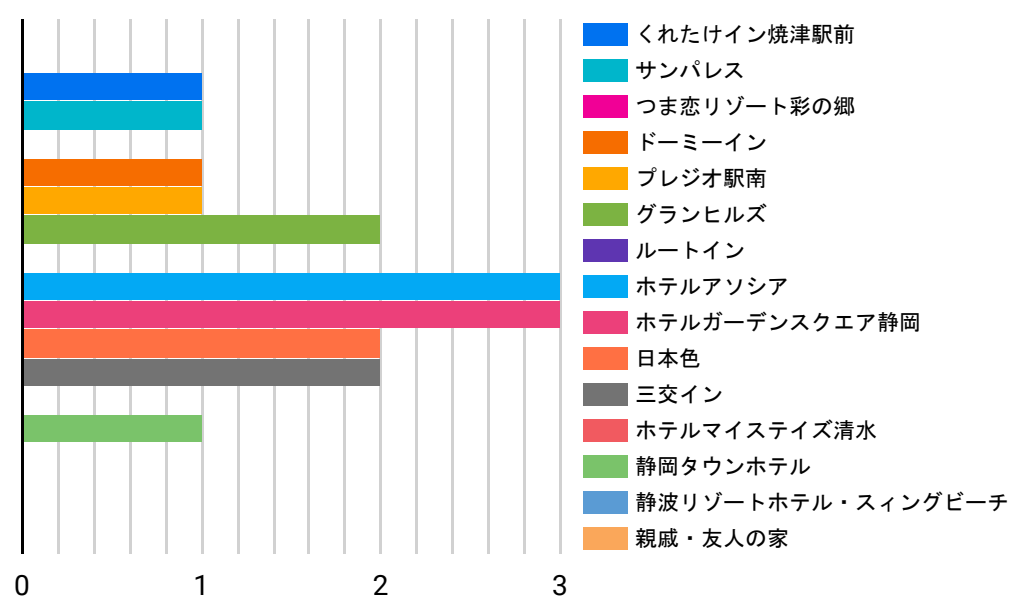


山梨県内で訪れた観光スポット

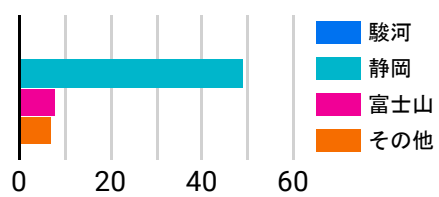


その他

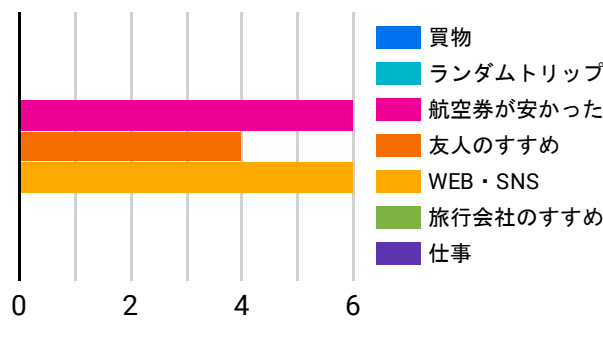
静岡県中部エリアの宿泊先



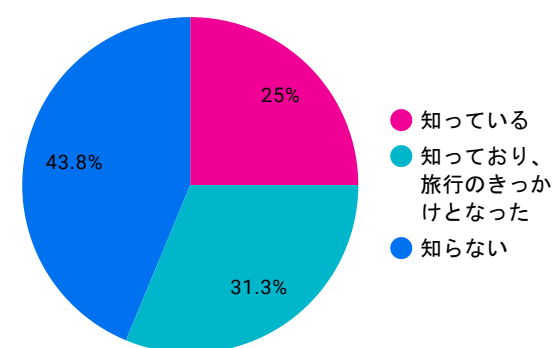
静岡県中部エリアの呼称



静岡県中部エリアの来訪の動機



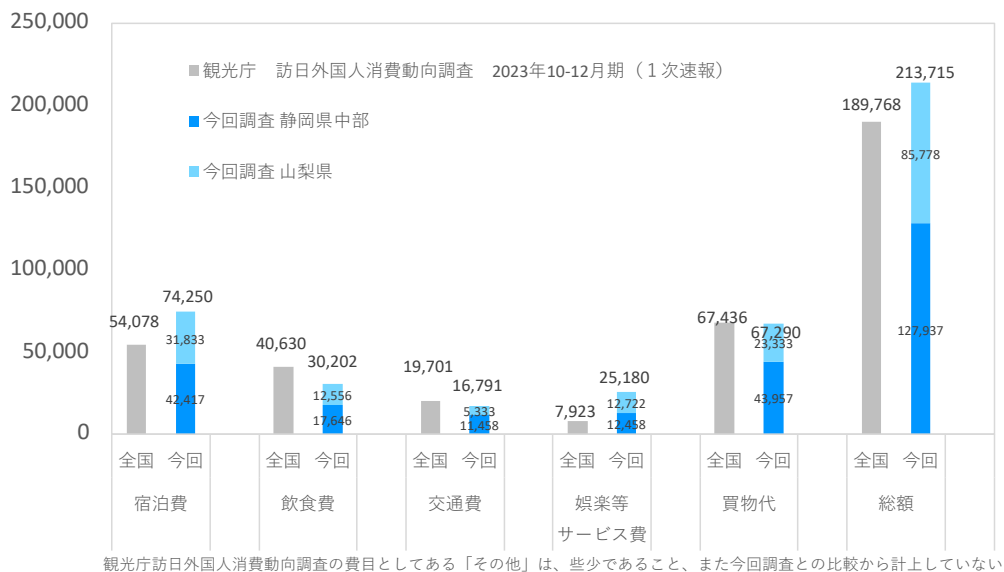
静岡市韓国向けブログの認知度



③ 高雄便

- ▶ 日本への訪問回数は平均で5.5回、2回目以上の訪問回数が81%と大多数となった。一方で、静岡県中部地域へは83%がはじめて（1回目）の来訪となった。
- ▶ 山梨県への訪問率は38%となった。
- ▶ 日本への滞在期間中の宿泊数は6泊が90%と大多数を占め、平均宿泊数は6.3泊、うち静岡県中部地域における平均宿泊数は4.9泊となった。（観光庁 訪日外国人消費動向調査 2023年10-12月期（1次速報））
- ▶ 静岡県中部地域における一人あたりの消費額の平均は128千円であり、他の便と比較して最も高くなった。消費額の内訳のうち、買物代が44千円と最も大きくなった。
- ▶ 全国と比較した費目別消費額では、「宿泊費」および「娯楽等サービス費」で今回の消費額が大きくなった。
- ▶ 静岡県中部地域における移動手段は、「路線バス・コミュニティバス」が22名で最も多く、次いで「貸切バス」21人が多くなった。
- ▶ 当地域のほかに訪れた訪問地は「名古屋」が26人と最も多かった。

1人当たり費目別消費額

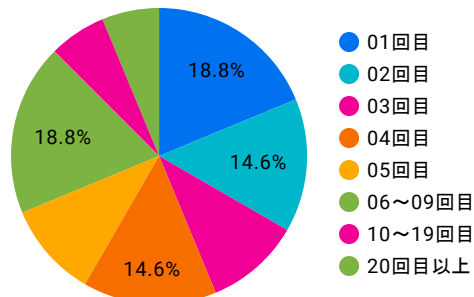


来訪特性

訪問回数

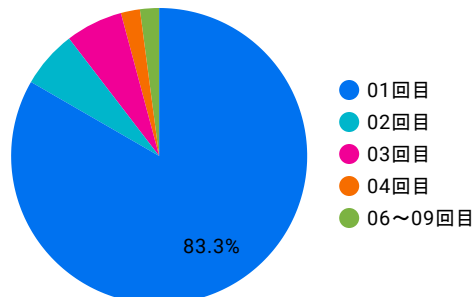
日本

平均 5.5回



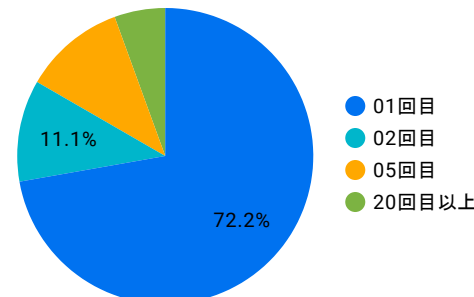
静岡県中部地域

平均 1.4回



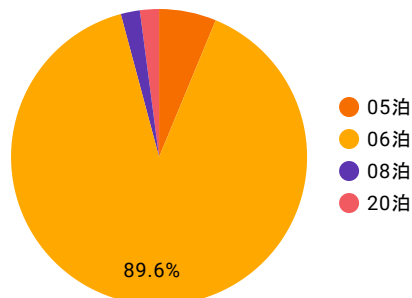
山梨県 訪問率 37.5%

平均 2.6回

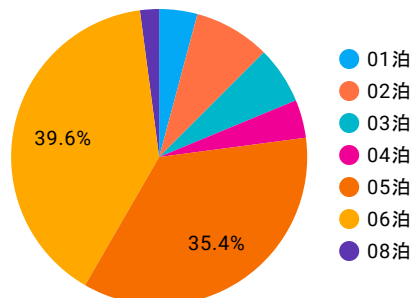


宿泊泊数

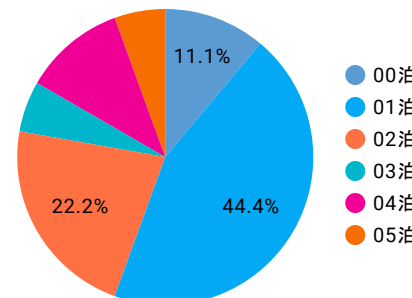
平均6.3泊



平均4.9泊



平均 1.8泊



消費額 平均値

合計

- 宿泊費
- 飲食費
- 娯楽サービス費
(入場料、体験料など)
- 買物代
- 交通費

¥127,691

¥42,417

¥17,646

¥12,458

¥43,712

¥11,458

¥85,778

¥31,833

¥12,556

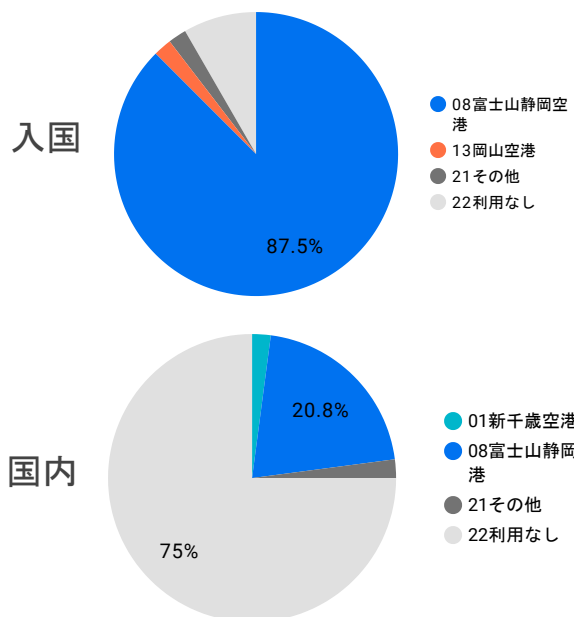
¥12,722

¥23,333

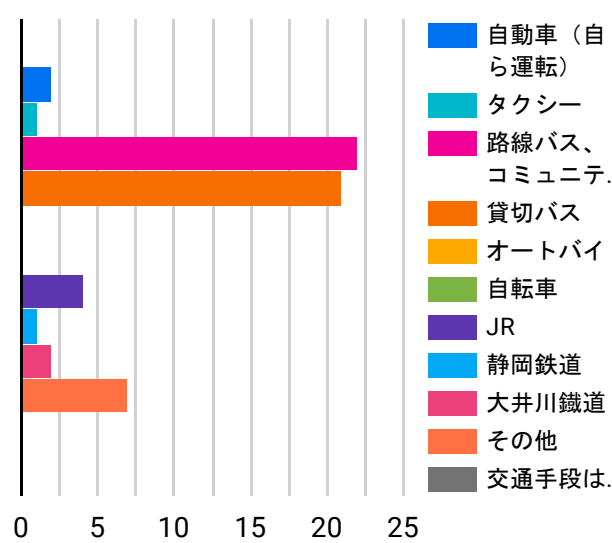
¥5,333

交通機関

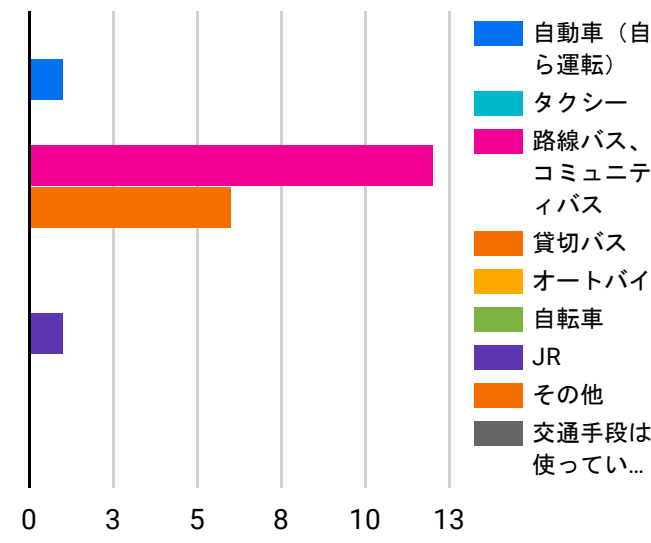
利用空港



交通機関 (中部地域)

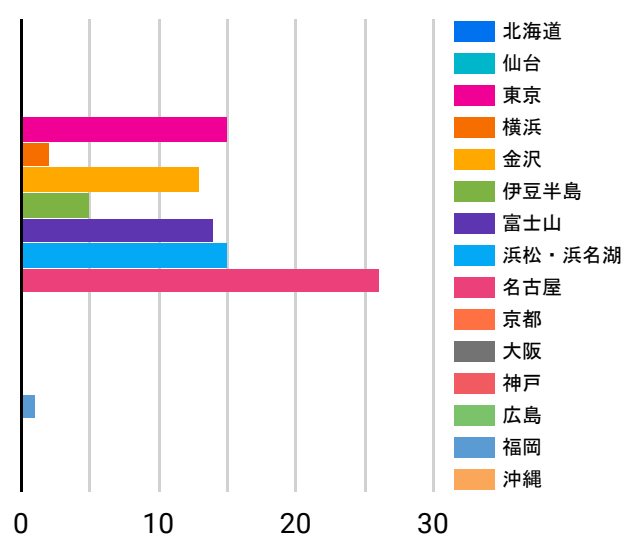


交通機関 (山梨県)

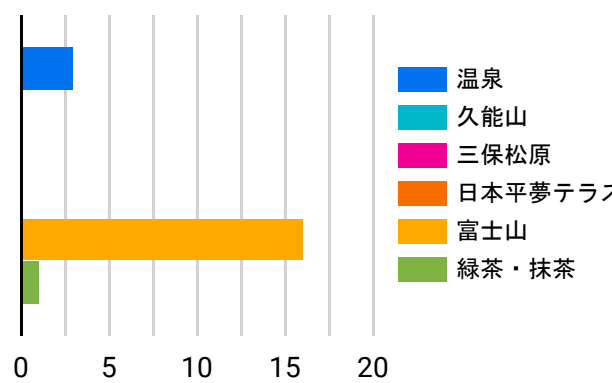


訪問地域

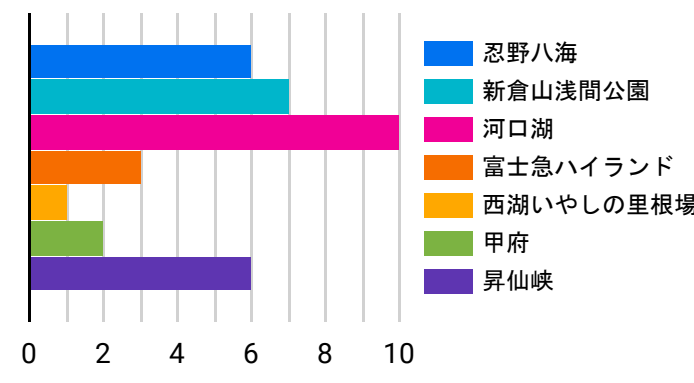
その他に訪れた地域



中部地域で訪れた観光スポット体験

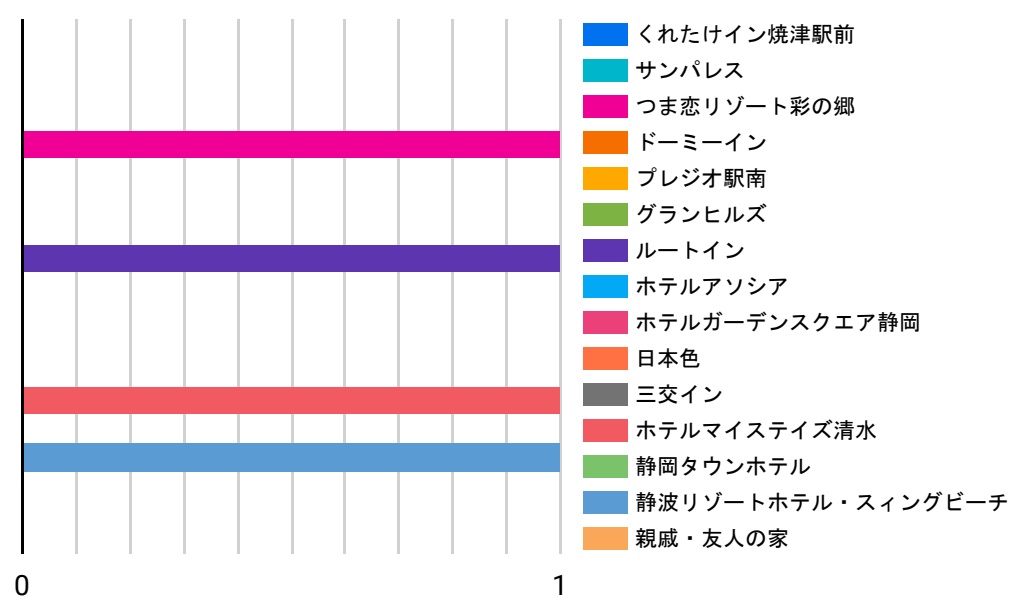


山梨県内で訪れた観光スポット

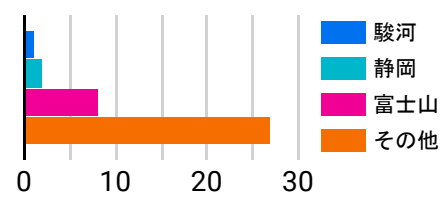


その他

静岡県中部エリアの宿泊先



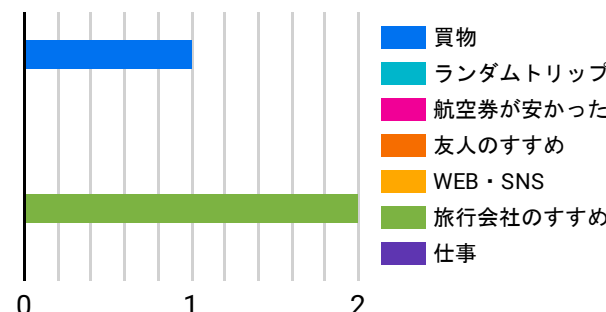
静岡県中部エリアの呼称



静岡市韓国向けブログの認知度

データがありません

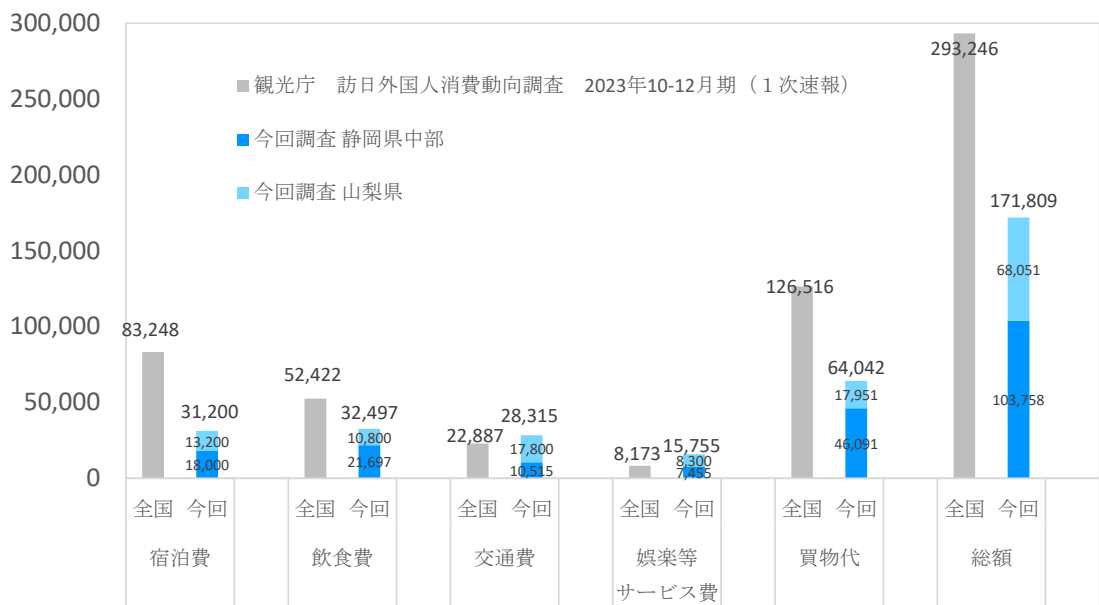
静岡県中部エリアの来訪の動機



④ 上海便

- 日本への訪問回数は平均で8.5回、静岡県中部地域への訪問回数は4.4回と、他の便と比較してもっとも多くなった。
- 山梨県への訪問率は30%と他の便と比較して最も低かった。
- 日本への滞在期間中の平均宿泊数は11.0泊、うち静岡県中部地域では8.8泊と最も多くなった。(観光庁 訪日外国人消費動向調査 2023年10-12月期(1次速報))
- 静岡県中部地域における一人あたりの消費額の平均は104千円であった。消費額の内訳のうち、買物代が46千円と他の便と比較して最も大きくなった。
- 全国と比較した費目別消費額では、「宿泊費」および「買物代」で大きく差が生じた可能性がある。
- 静岡県中部地域における移動手段は、「路線バス・コミュニティバス」、「自動車」、「貸切バス」および「JR」にそれぞれ分散した。
- 静岡県中部エリアの来訪の動機として、「ランダムトリップ」が5人と最も多くなった。

1人当たり費目別消費額



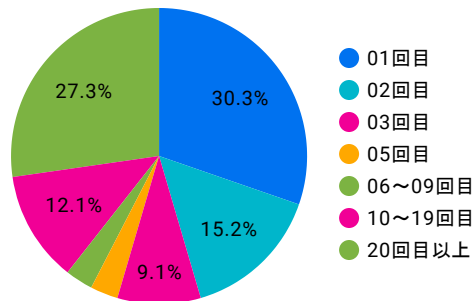
観光庁訪日外国人消費動向調査の費目としてある「その他」は、些少であること、また今回調査との比較から計上していない

来訪特性

訪問回数

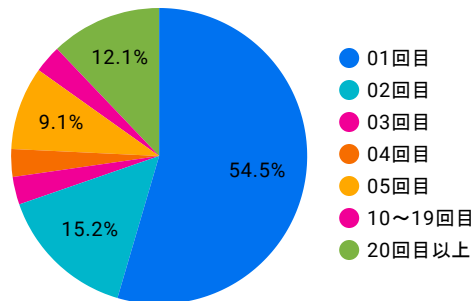
日本

平均 8.5回



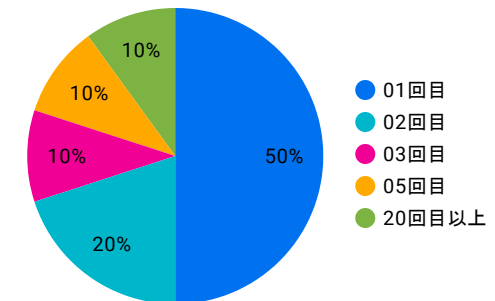
静岡県中部地域

平均 4.4回



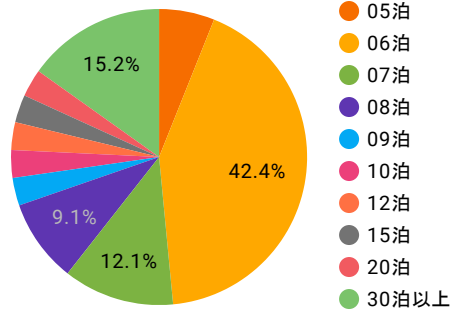
山梨県 訪問率 30.3%

平均 3.7回

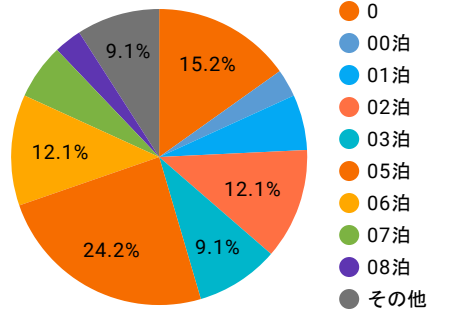


宿泊泊数

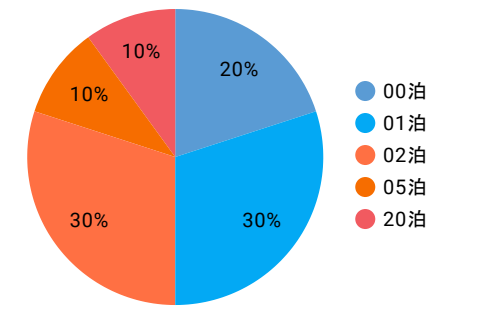
平均11.0泊



平均5.0泊



平均 3.4泊



消費額
平均値

合計

- 宿泊費
- 飲食費
- 娯楽サービス費
(入場料、体験料など)
- 買物代
- 交通費

¥103,758

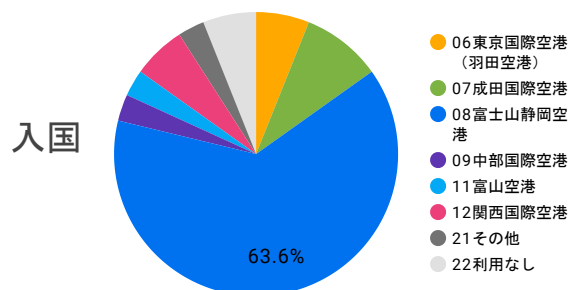
- ¥18,000
- ¥21,697
- ¥7,455
- ¥46,091
- ¥10,515

¥68,051

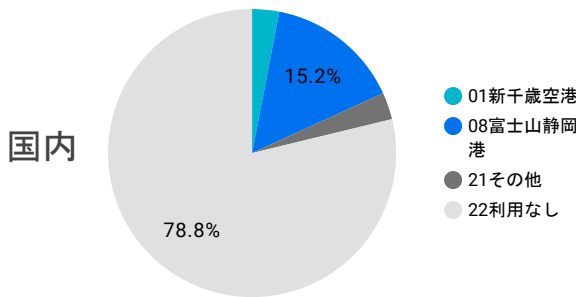
- ¥13,200
- ¥10,800
- ¥8,300
- ¥17,951
- ¥17,800

交通機関

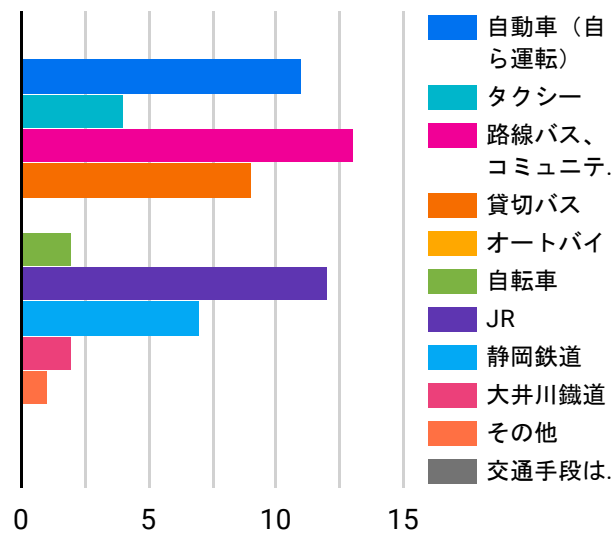
利用空港



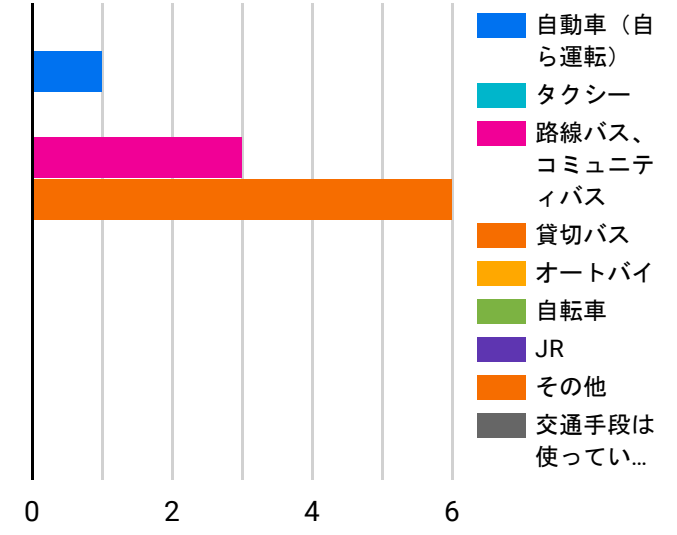
国内



交通機関 (中部地域)

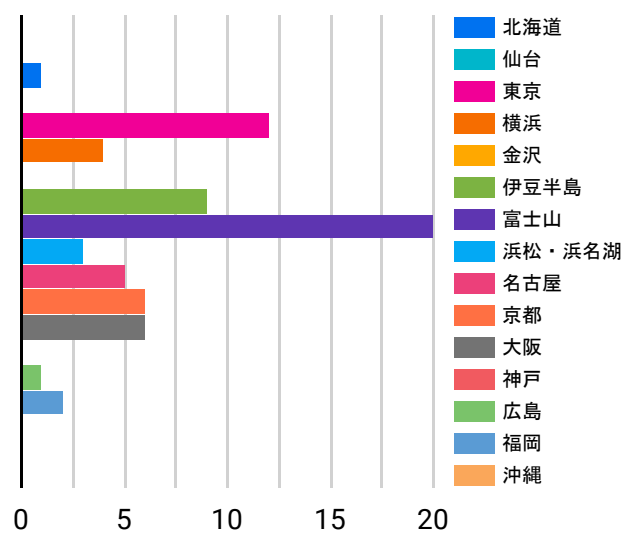


交通機関 (山梨県)

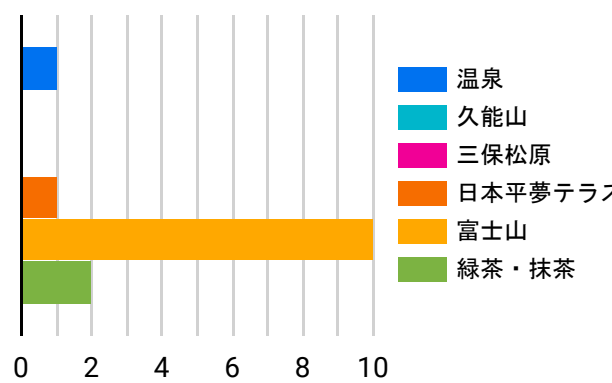


訪問地域

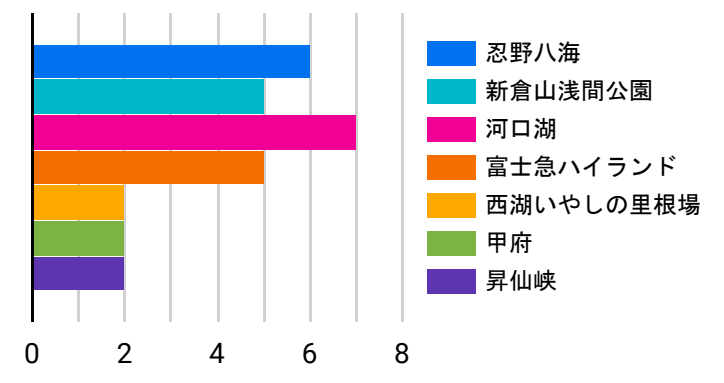
その他に訪れた地域



中部地域で訪れた観光スポット体験

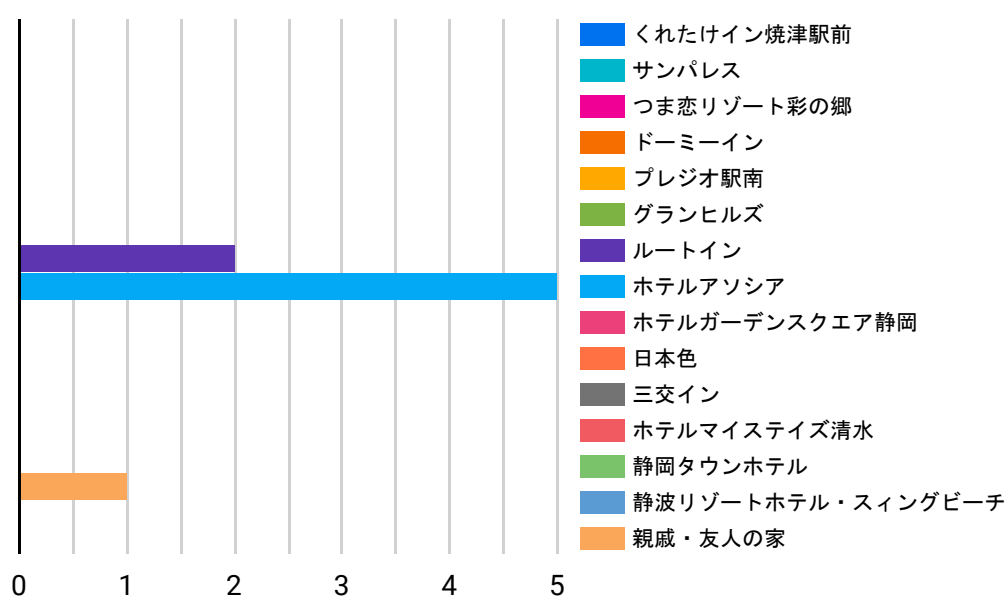


山梨県内で訪れた観光スポット

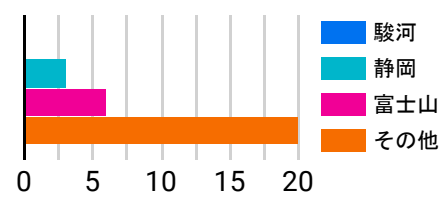


その他

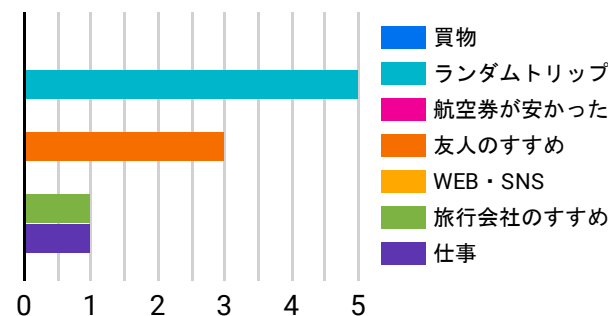
静岡県中部エリアの宿泊先



静岡県中部エリアの呼称



静岡県中部エリアの来訪の動機



静岡市韓国向けブログの認知度

データがありません

3. 考察

アンケート調査の結果等を踏まえて、帰国時に富士山静岡空港を利用した訪日客の傾向として以下が得られた。本結果を踏まえた当地域における商品造成、プロモーション等が期待される。

(回答者の属性)

- 高雄便および上海便においては女性の比率がやや高かったものの、ソウル便においては66%を男性が占めた。
- 回答者全体の 73%を30代以下が占めた。特にソウル便においては83%を30代以下が占め、うち20代が59%となった。
- 同行者の属性において最も多かったのは、高雄便で家族(お子様連れ)が73%、ソウル便で友人が34%となった。上海便においては家族(お子様連れ)および夫婦・パートナーがそれぞれ27%、次いで仕事が18%とビジネスの来訪者も一定数見られた。

(当地域への滞在)

- 日本滞在中の宿泊数の平均が6.8泊であるのに対し、当地域における宿泊数は5.1泊であり、当地域を中心に滞在をしていることが推測される。
- ソウル便については、交通費の平均が12千円と高く、また公共交通機関の利用者が多く、個人が意欲的に行動している様子が伺える。
- 高雄便については、日本滞在中の宿泊数について6泊が90%を占めた。さらに「貸切バス」の利用者も多かった。そのため、多くの旅行者が1週間のツアーに参加したと推測される。
- 一人あたりの域内消費額はおよそ97千円で、そのうち買物代が占める割合が32千円と最も多い。
- 一人あたりの域内消費額は男性で80千円であったのに対し、女性で120千円と男性の1.5倍となった。特に買物代は、男性が22千円であったのに対し女性で44千円と2倍であった。

(山梨県への滞在)

- 回答者全体の山梨県への往訪は35%であり、富士山静岡空港を利用する訪日客の主要な目的地になっていると考えられる。
- 山梨県における目的地は、河口湖周辺エリアが多いものの、昇仙峡にも一定の来訪者がある。
- 山梨県への移動は、韓国便においてレンタカーを含む自動車利用が多く、上海および高雄便では路線バスおよび貸切バスの利用が多い。

(他の地域との周遊)

- ゴールデンルート上の東京、富士山、名古屋を中心とした周遊が多い。
- 回答者の約半数が富士山を訪問しており、主要な目的地となっている。
- 東京は、韓国便を中心に訪問者が多く、回答者全体の 34%が訪れている。特に 10 代以下の層においては、富士山を超え、最も訪問がされている。

(直行便の効果)

- 回答者全体の 81%が複数の訪日経験を持つリピーターであったが、当地域への来訪は 80%が初めてであったことから、各国から静岡直行便の就航が、リピーターを中心に当地域の来訪のきっかけとなっていると考えられる。

(プロモーションの効果)

- 上海便については、来訪の動機を「ランダムトリップ」とあげる来訪者が最も多く、旅行会社等の施策を起因として来訪する層が一定数あった。
- 韓国便利用者について、静岡市が実施している韓国向けブログを「知っている」が過半数を占め、さらに「旅行のきっかけとなった」が 25%となったことから、韓国からの誘客につながっていることが推測される。

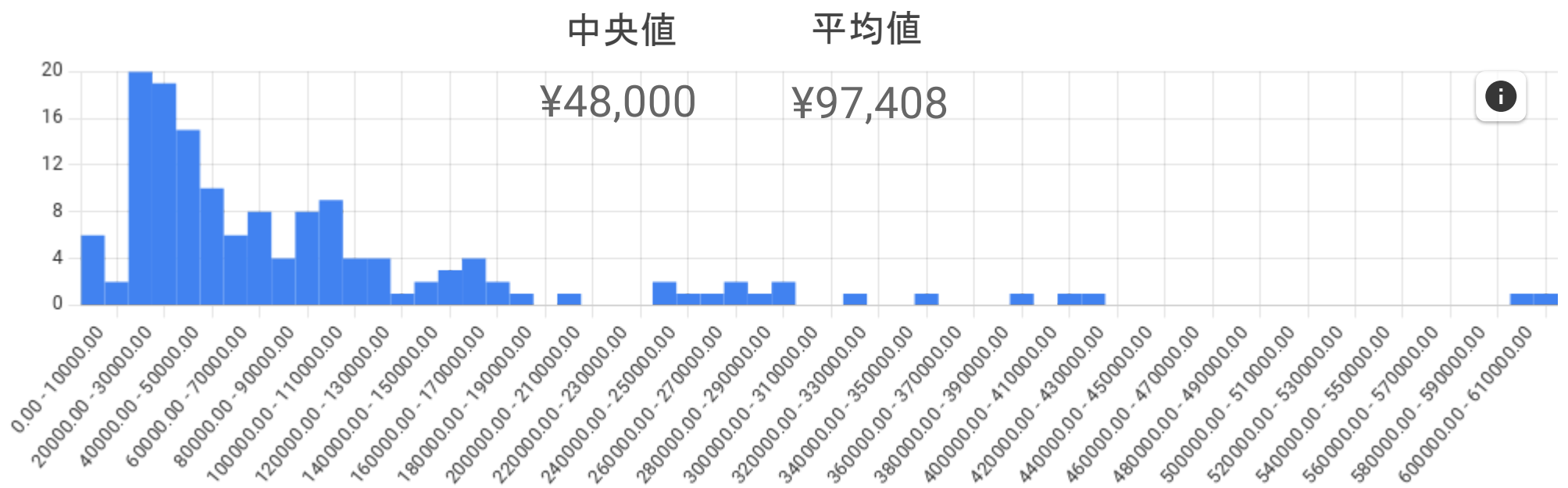
参考

(1) 静岡県中部地域における消費額

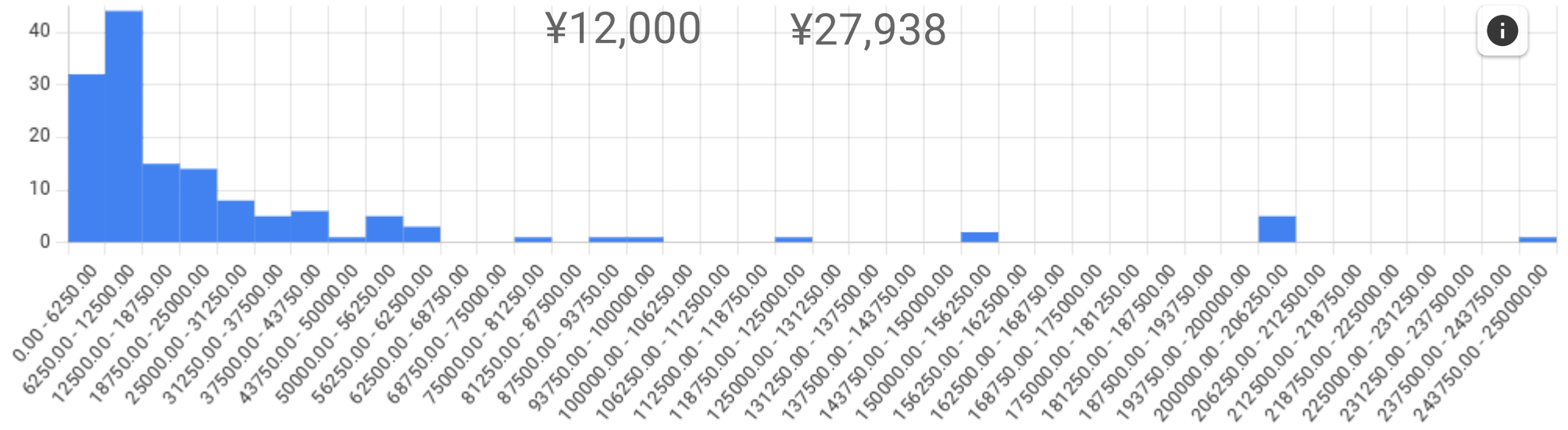
- 3. で示した平均値のほか、中央値及びヒストグラムを次ページに掲載する。

消費額（静岡県中部） ー全体ー

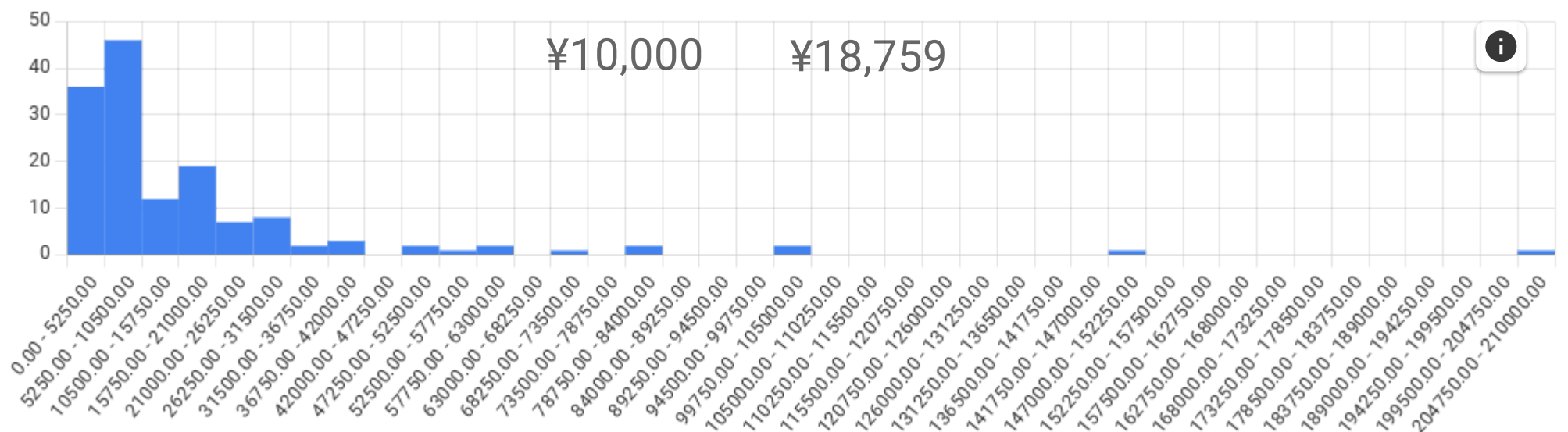
合計



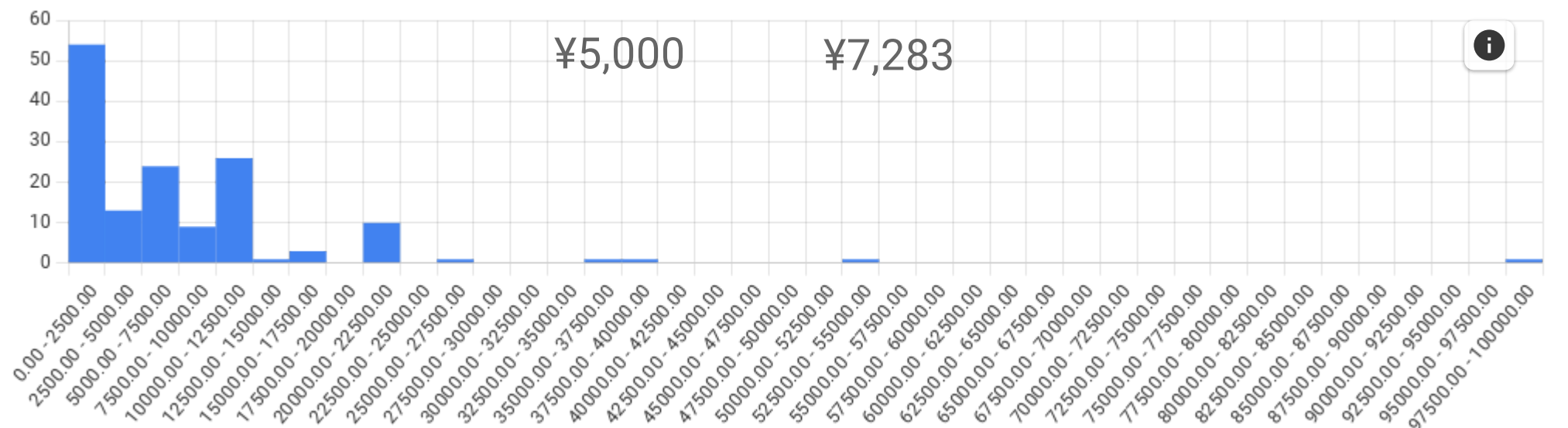
宿泊費



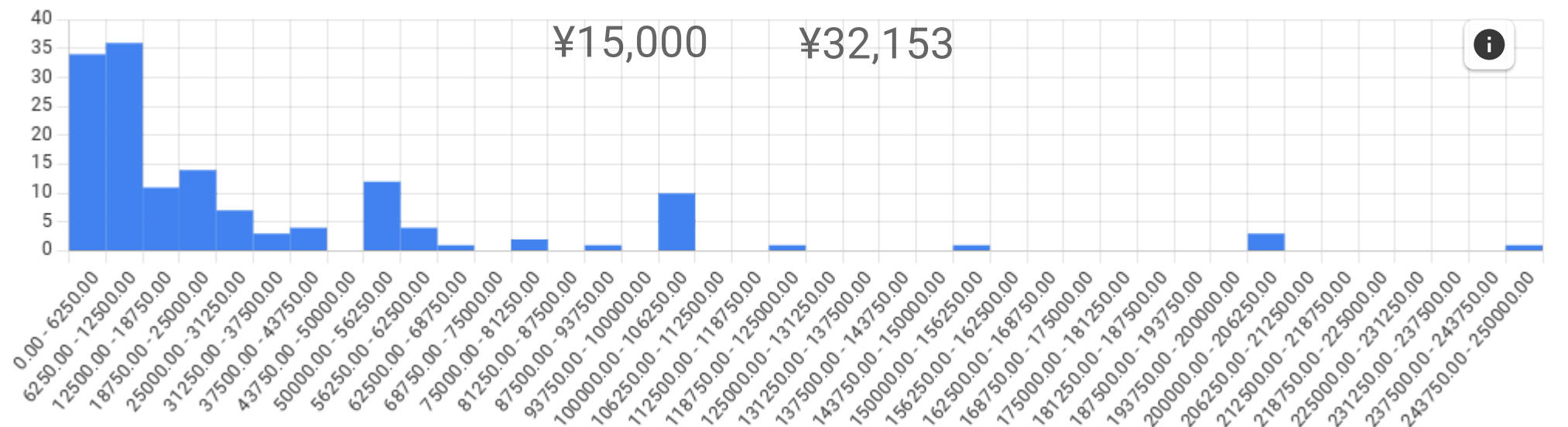
飲食費



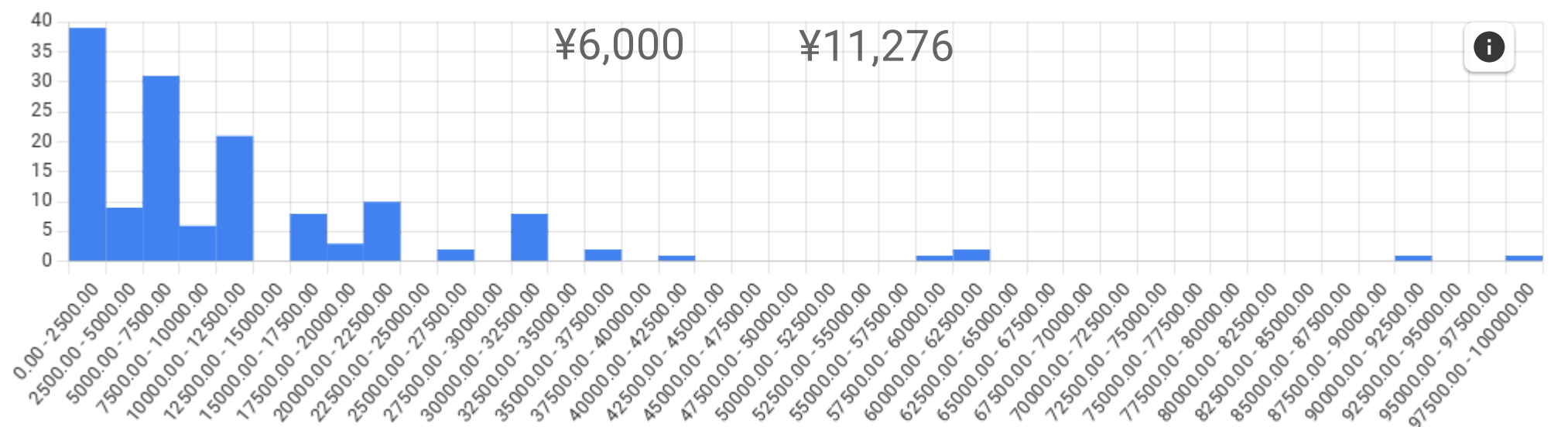
娯楽サービス費
(入場料、体験料など)



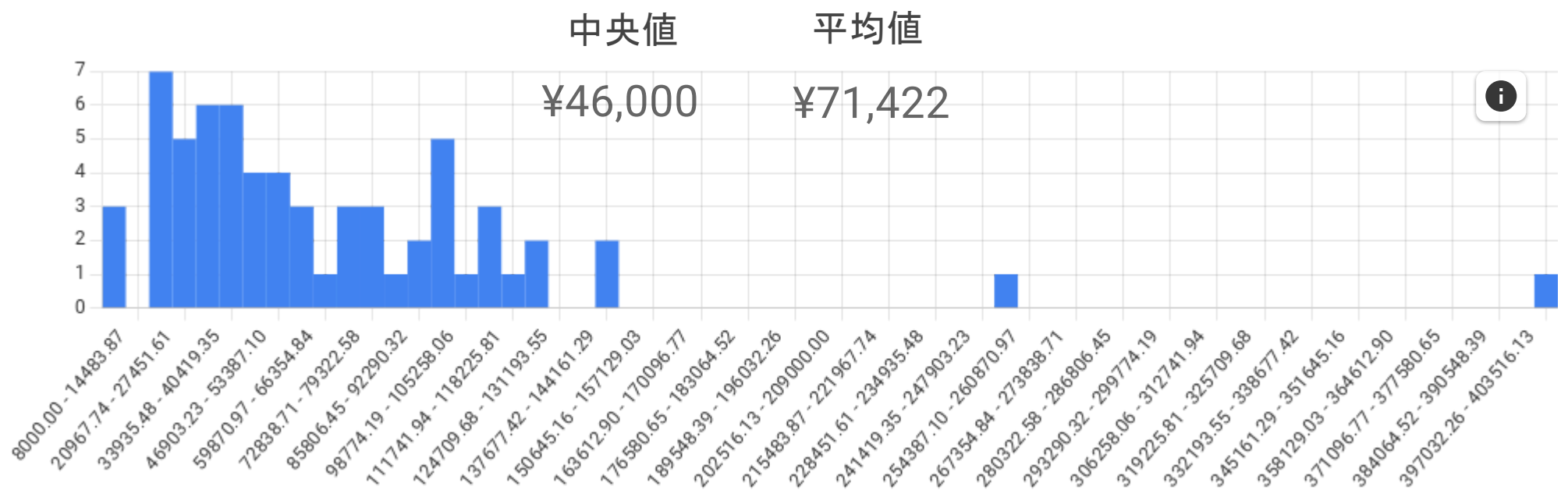
買物代



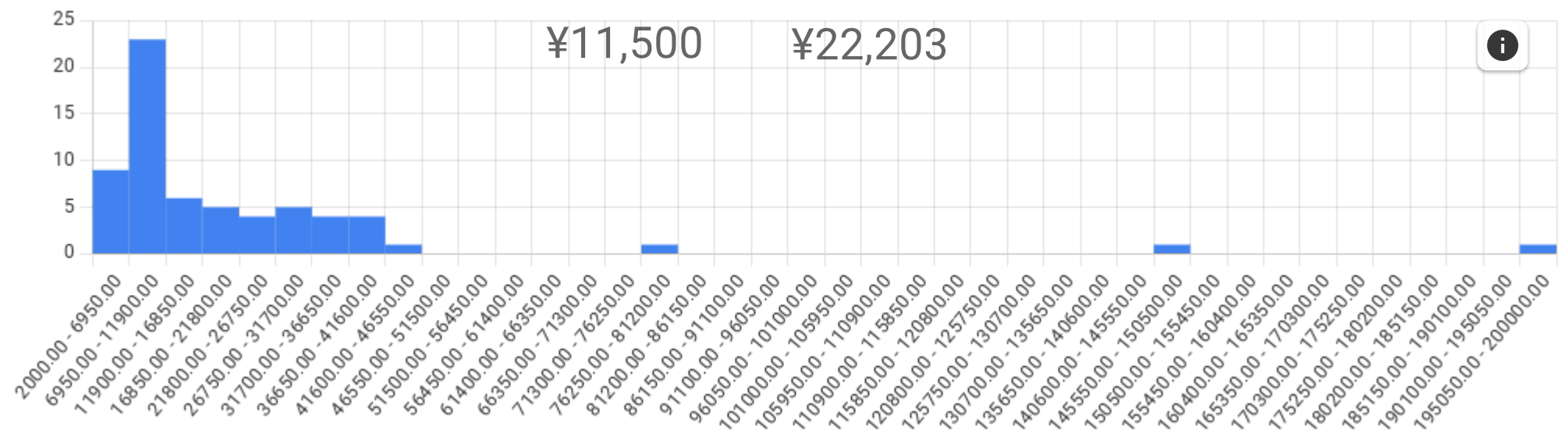
交通費



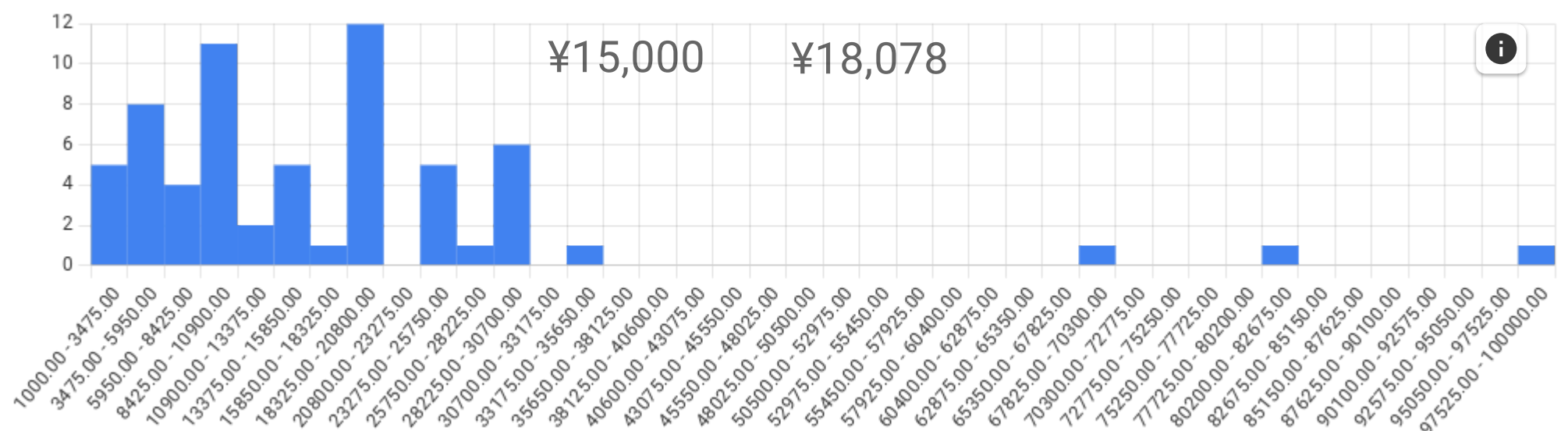
合計



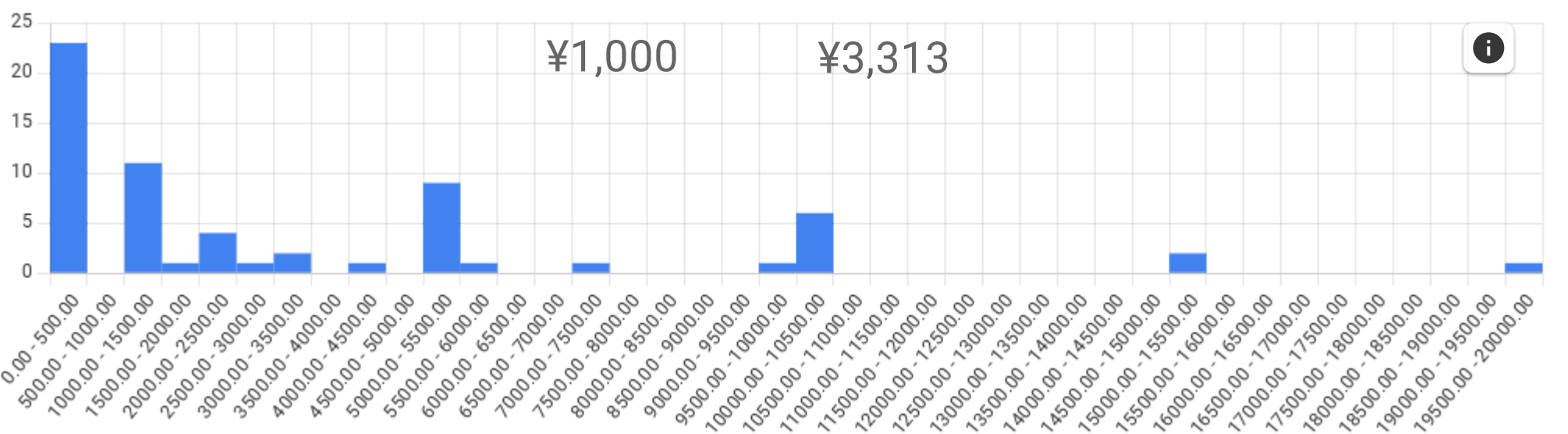
宿泊費



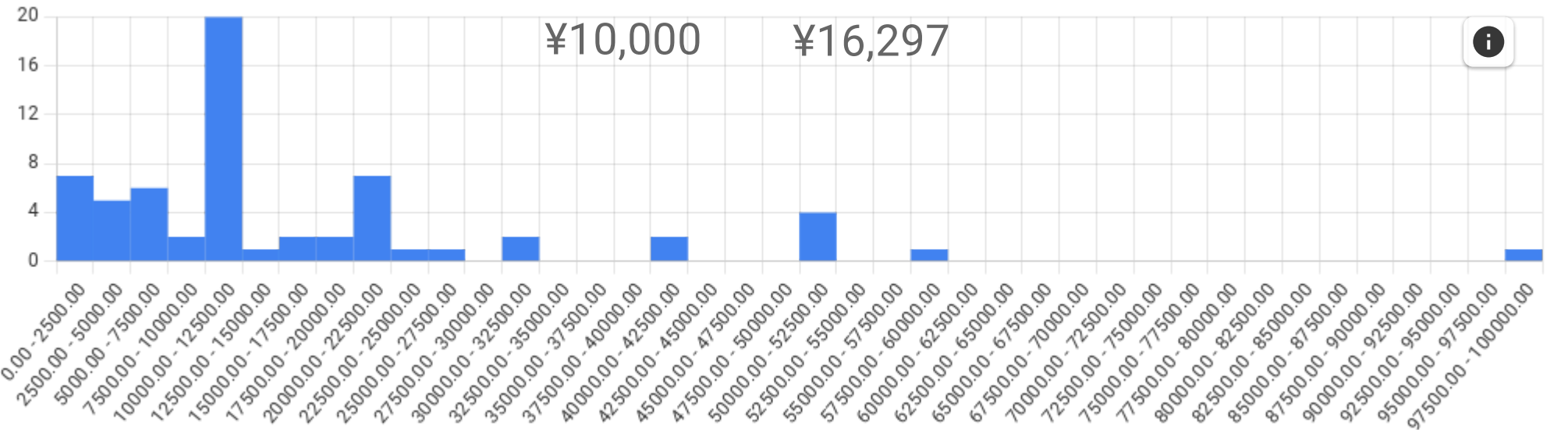
飲食費



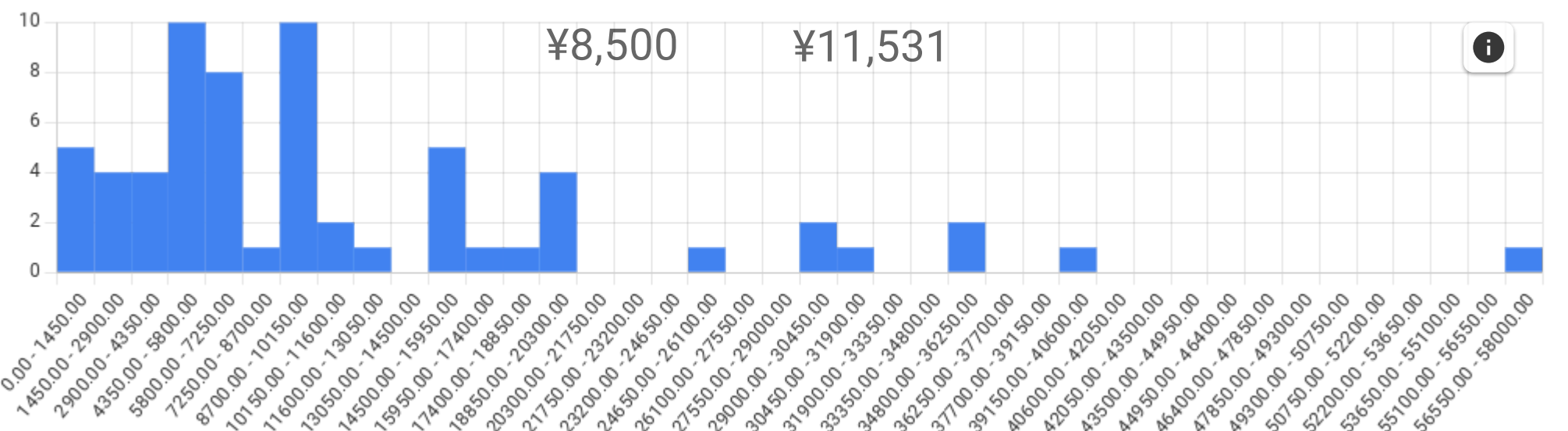
娯楽サービス費
(入場料、体験料など)



買物代



交通費



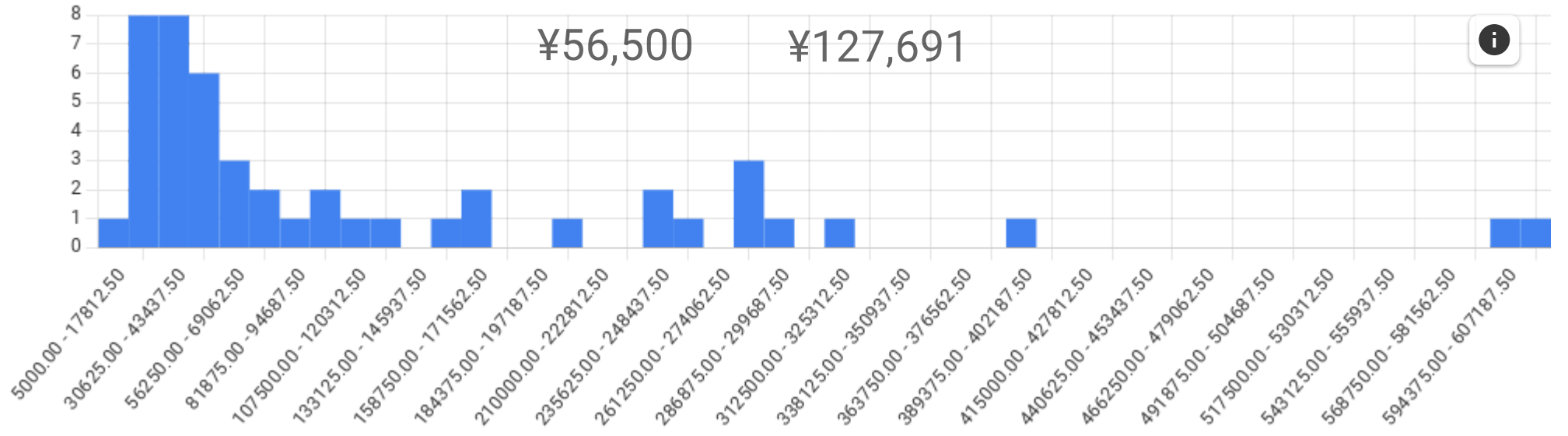
中央値

平均値

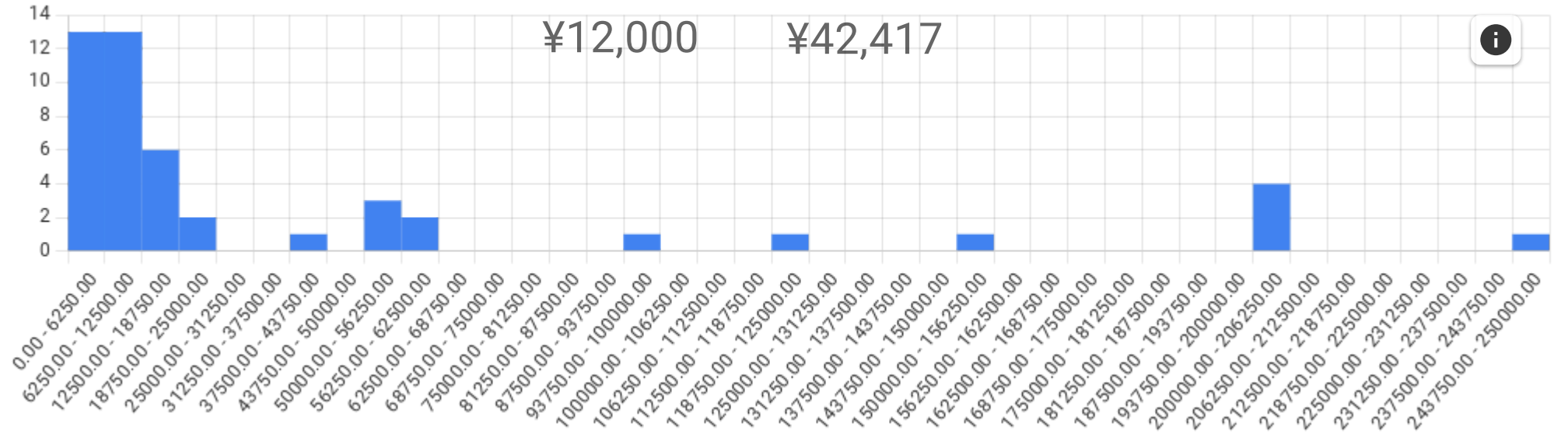
¥56,500

¥127,691

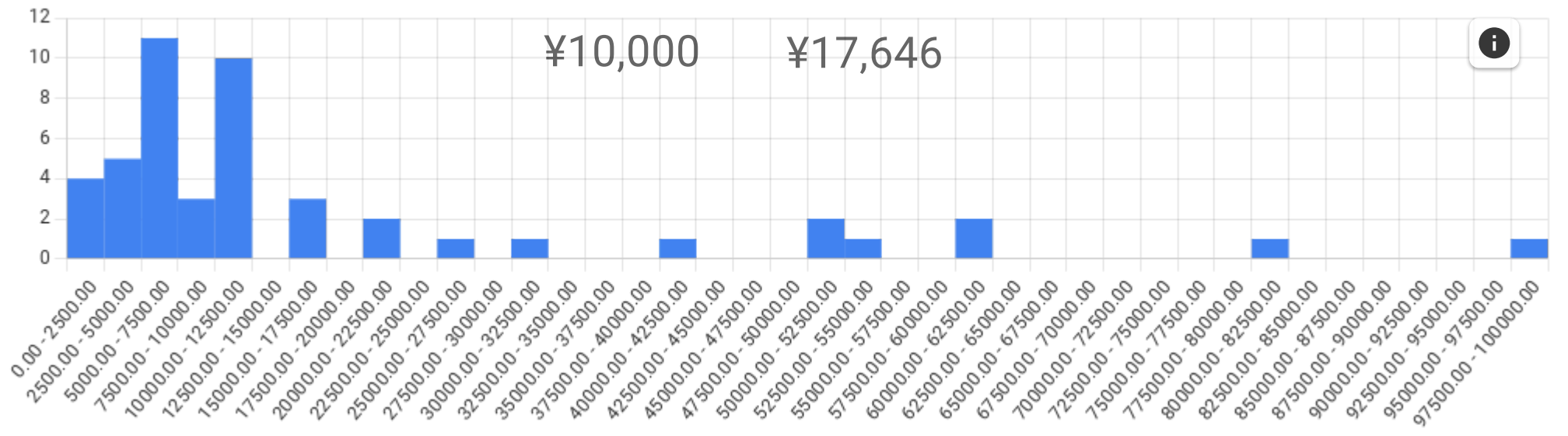
合計



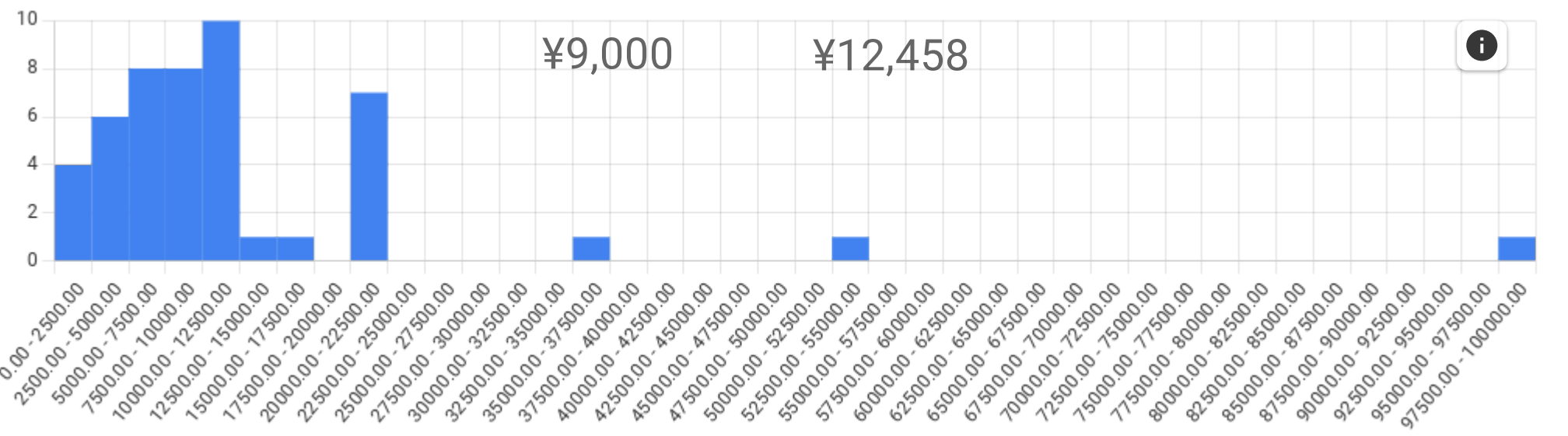
宿泊費



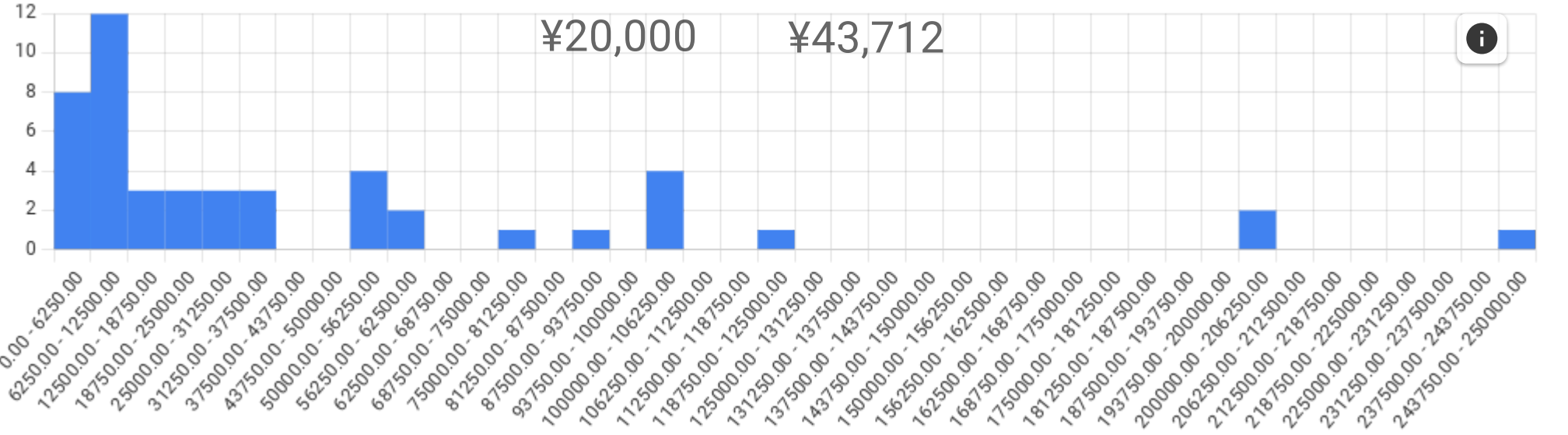
飲食費



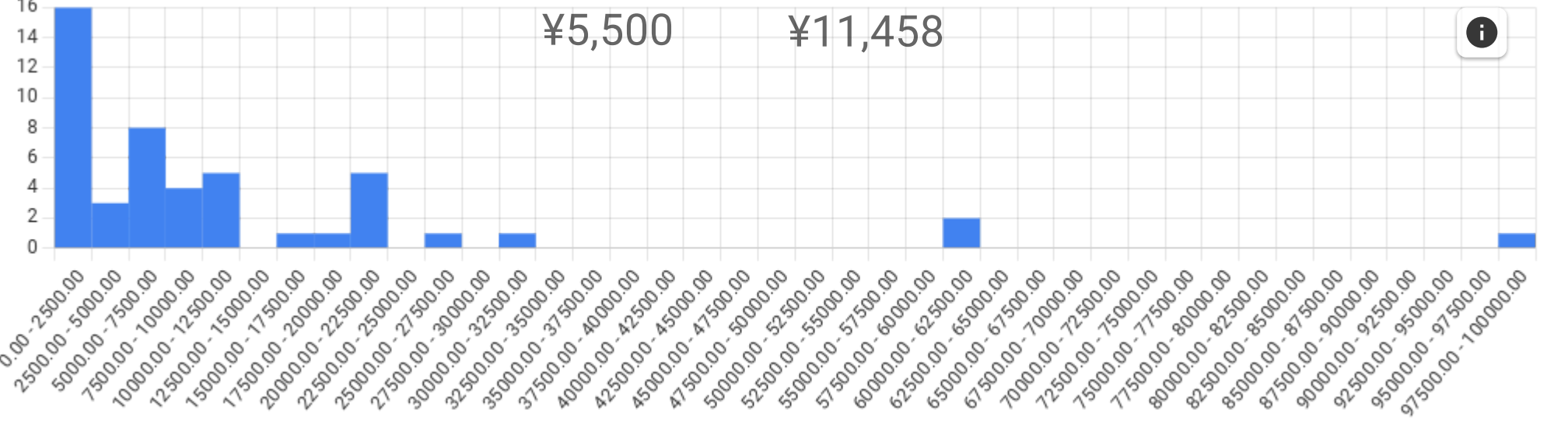
娯楽サービス費
(入場料、体験料など)



買物代



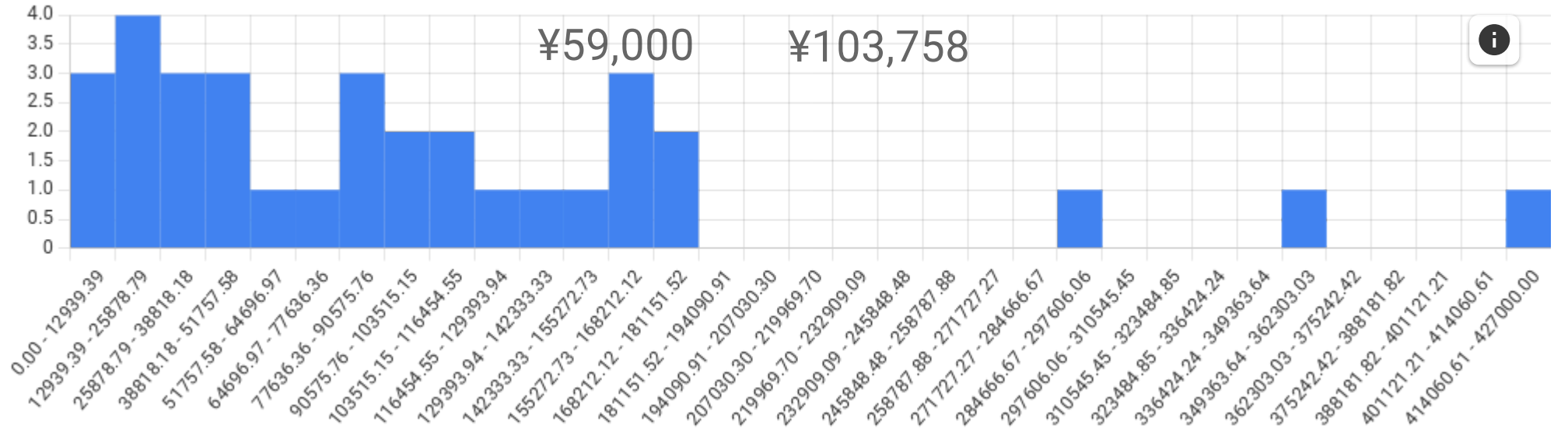
交通費



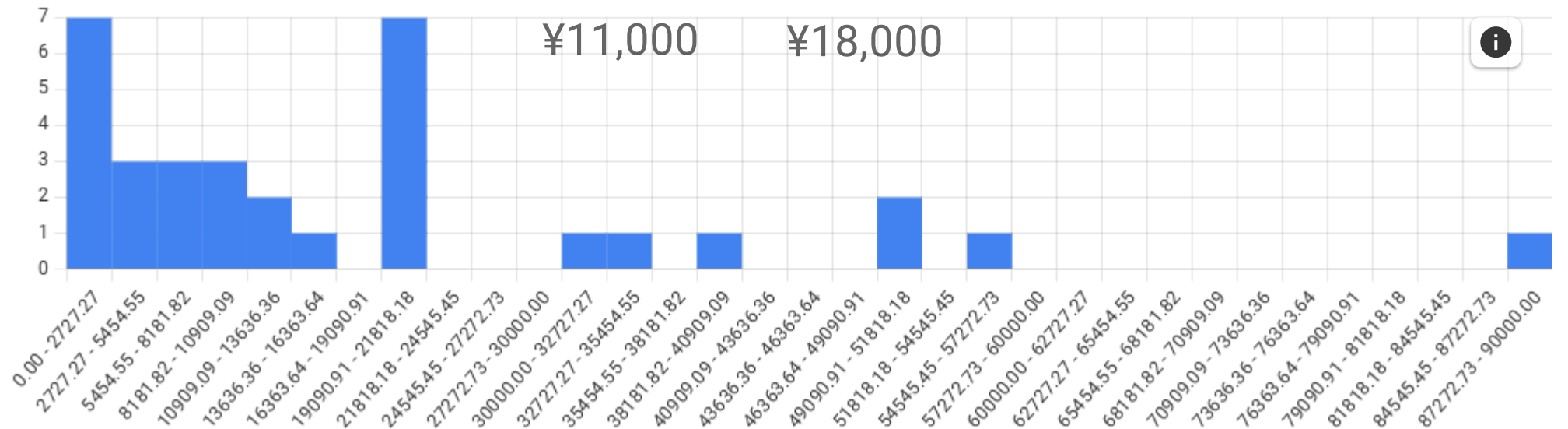
中央値

平均値

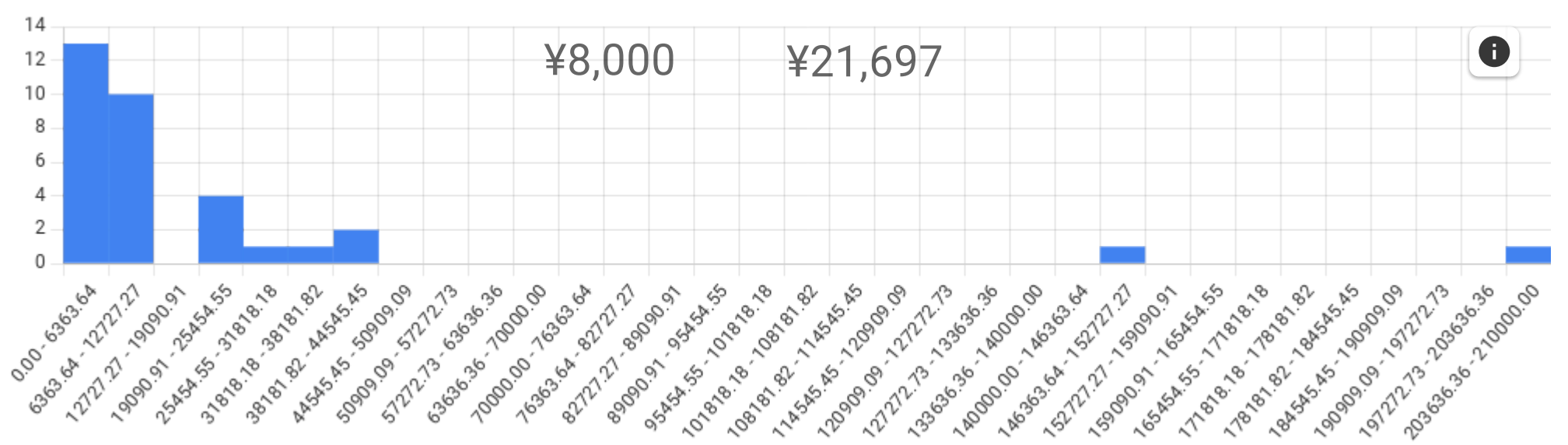
合計



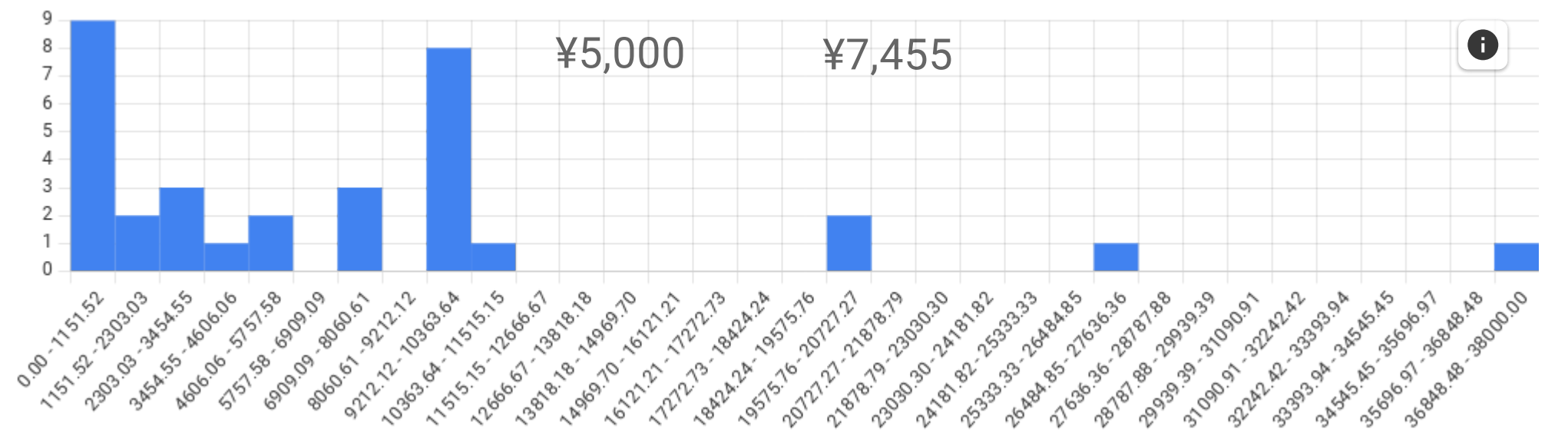
宿泊費



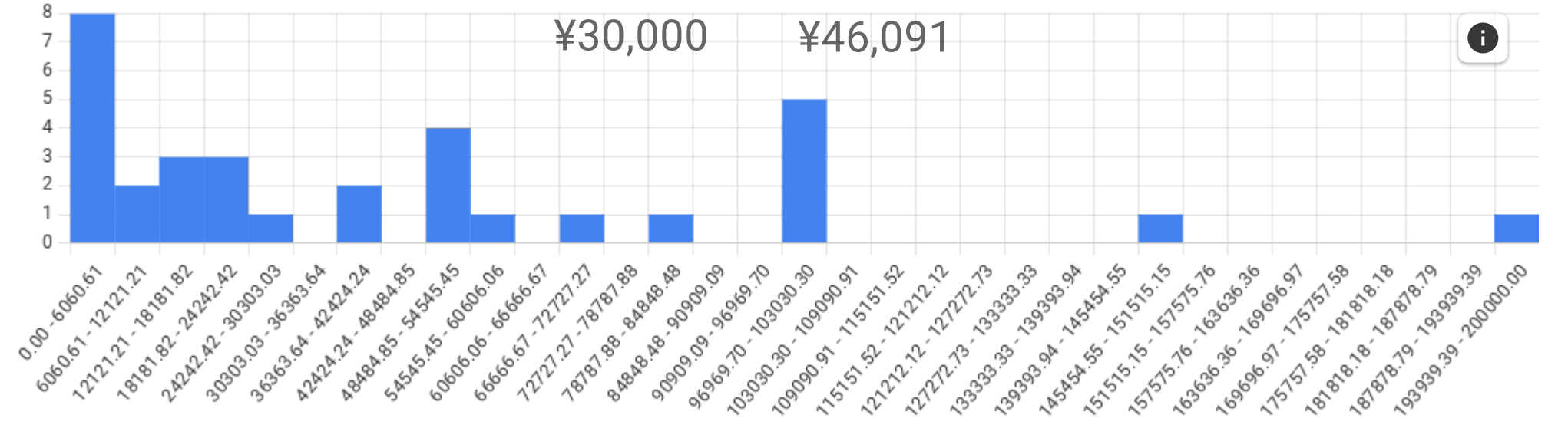
飲食費



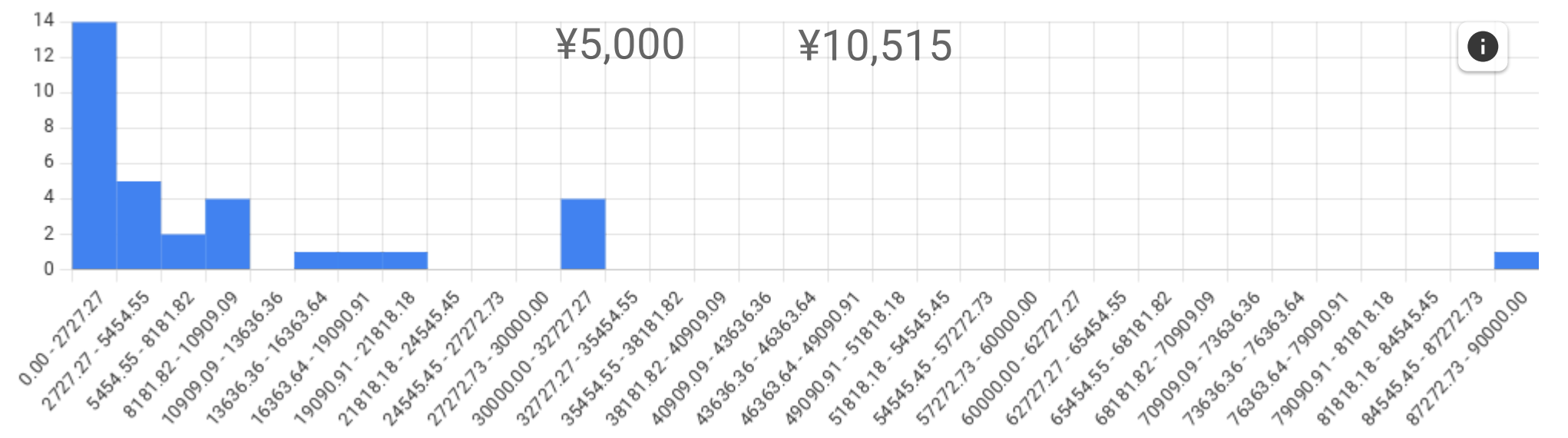
娯楽サービス費
(入場料、体験料など)



買物代



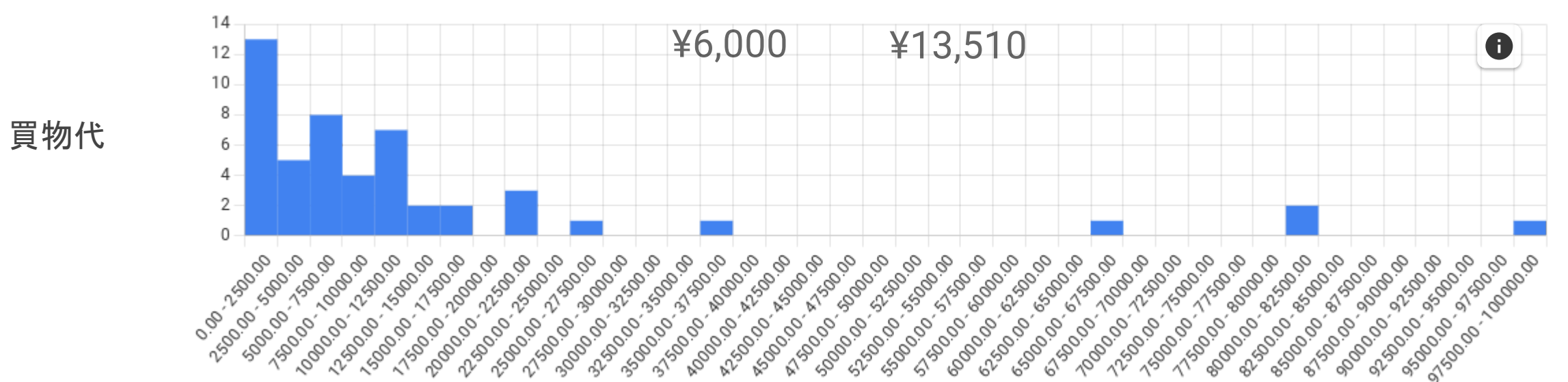
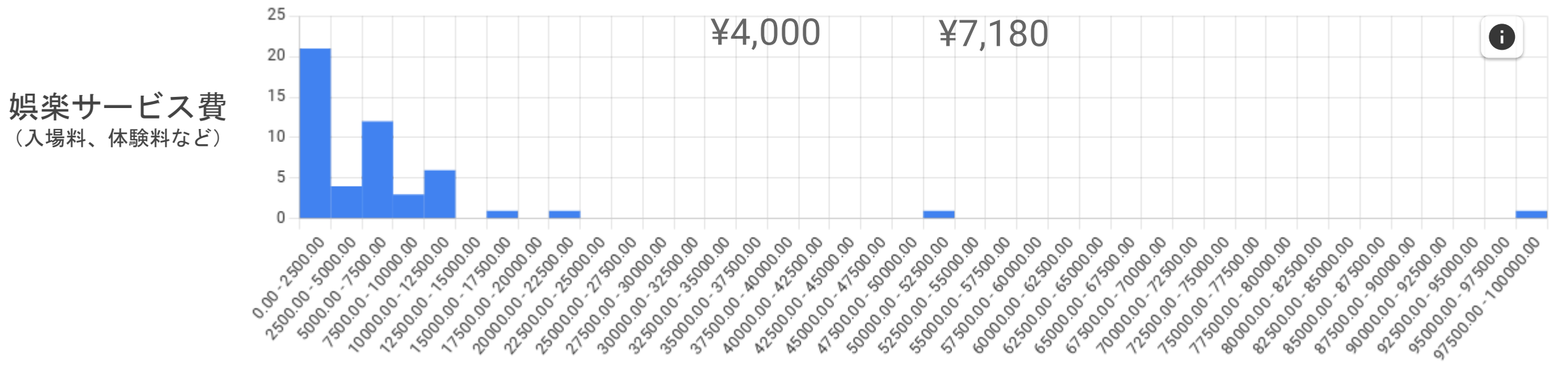
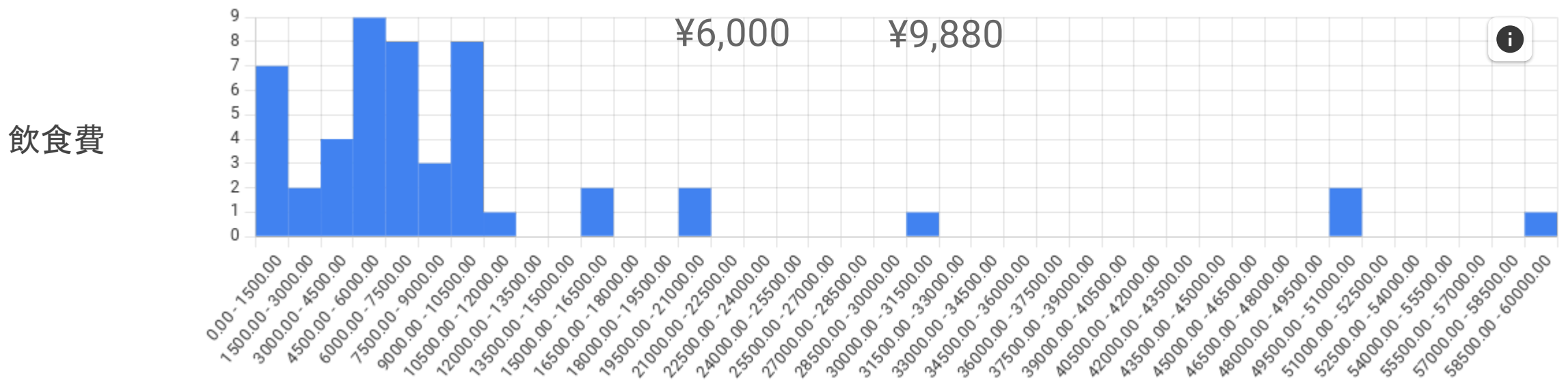
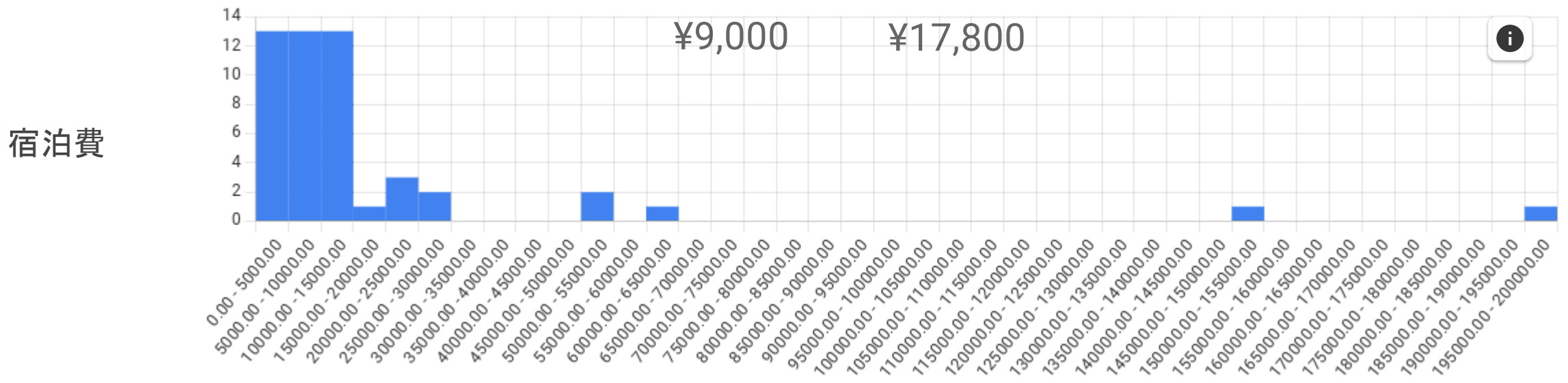
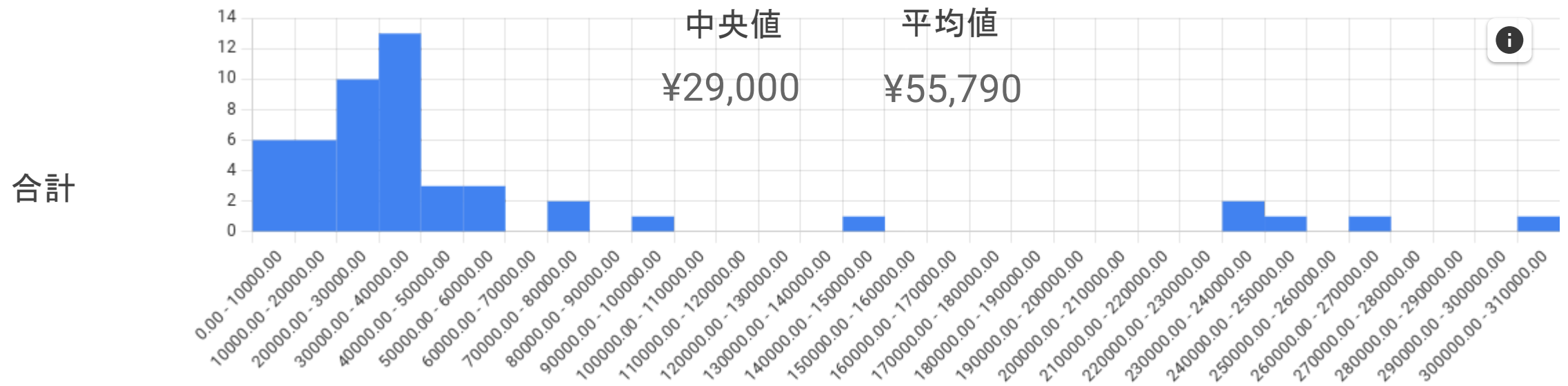
交通費



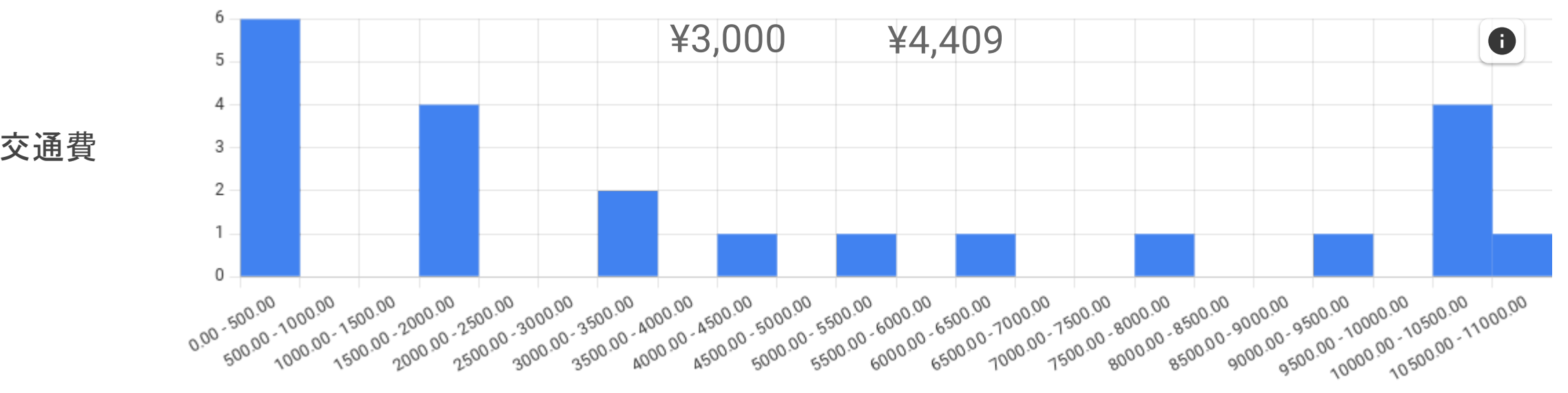
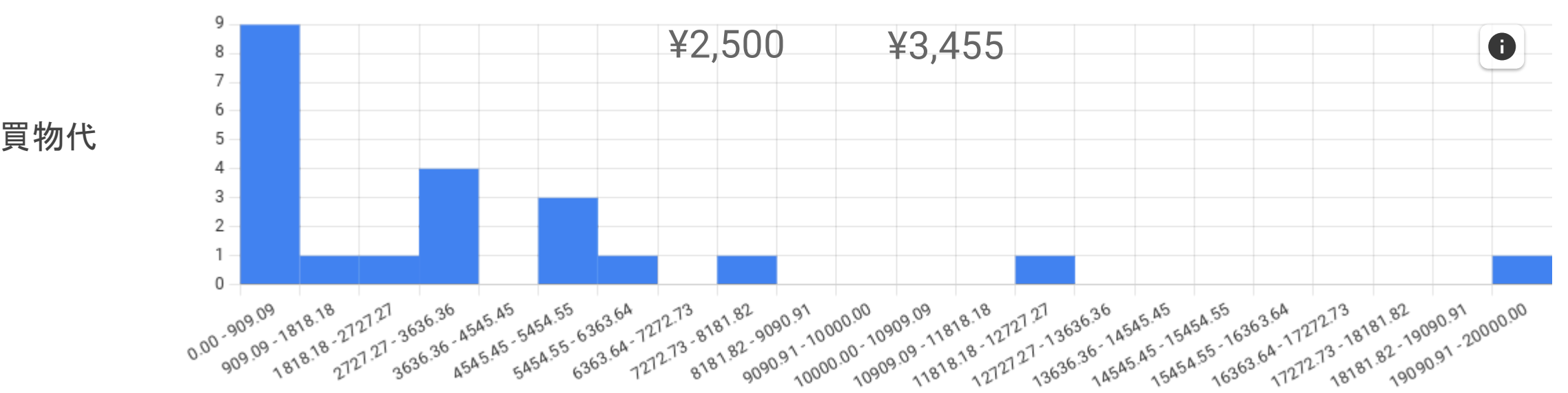
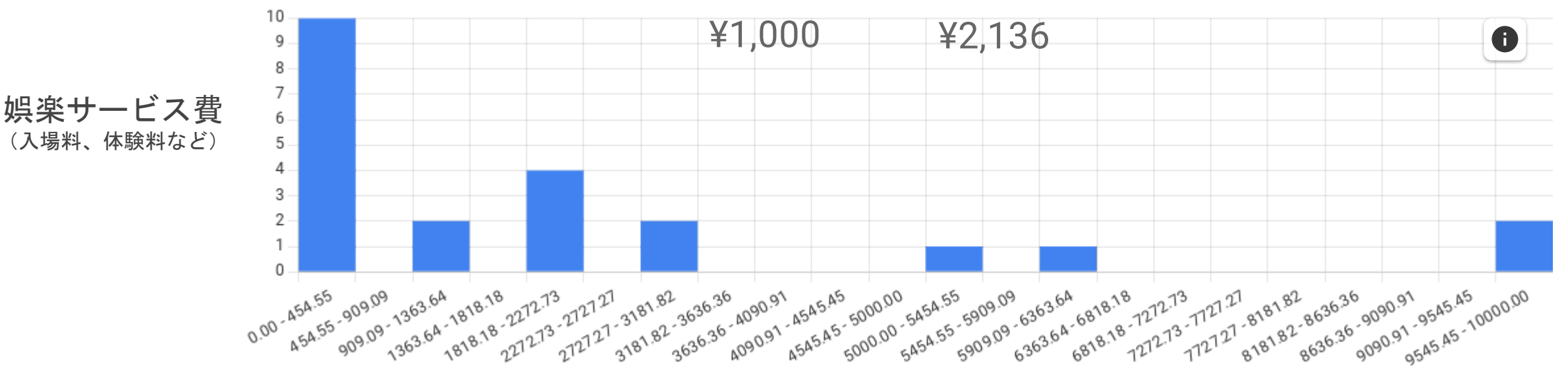
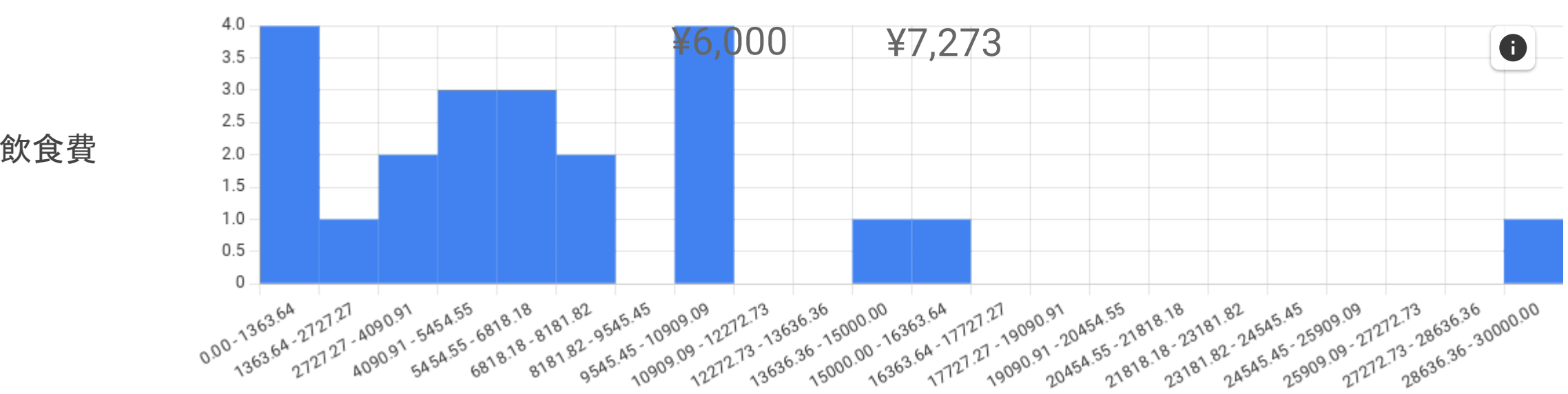
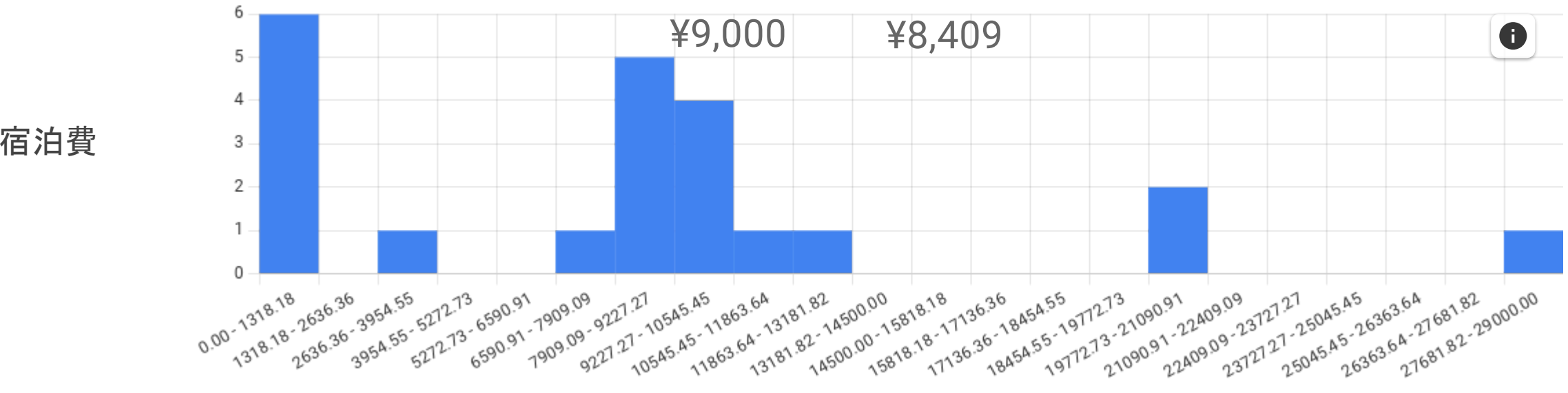
(2) 山梨県における消費額

- 3. で示した平均値のほか、中央値及びヒストグラムを次ページに掲載する。

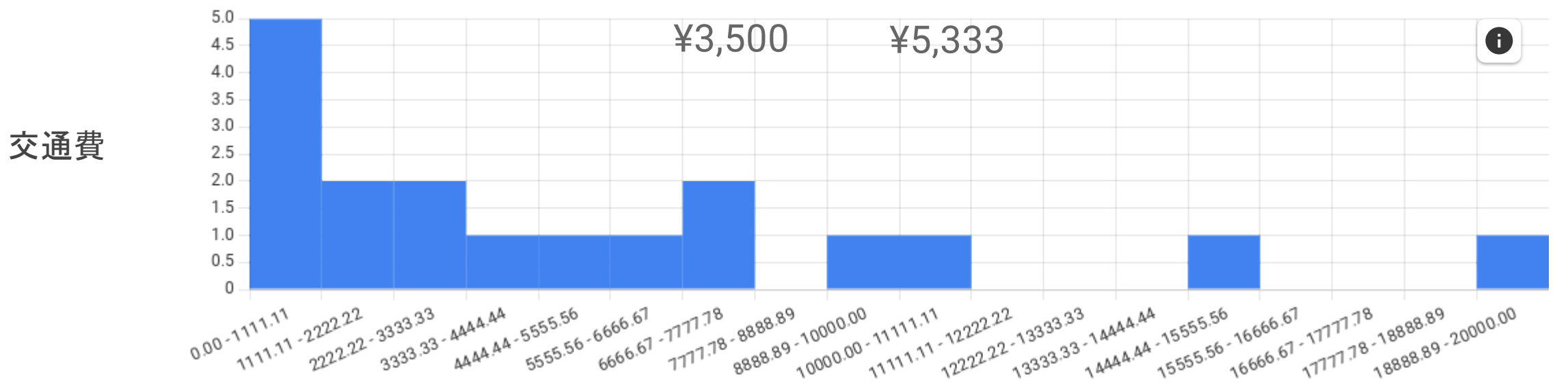
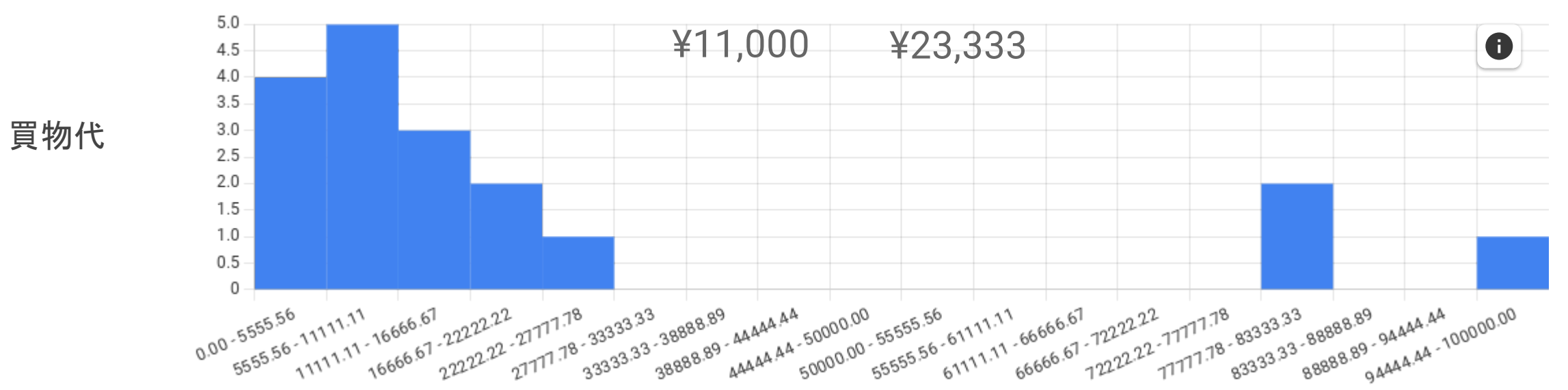
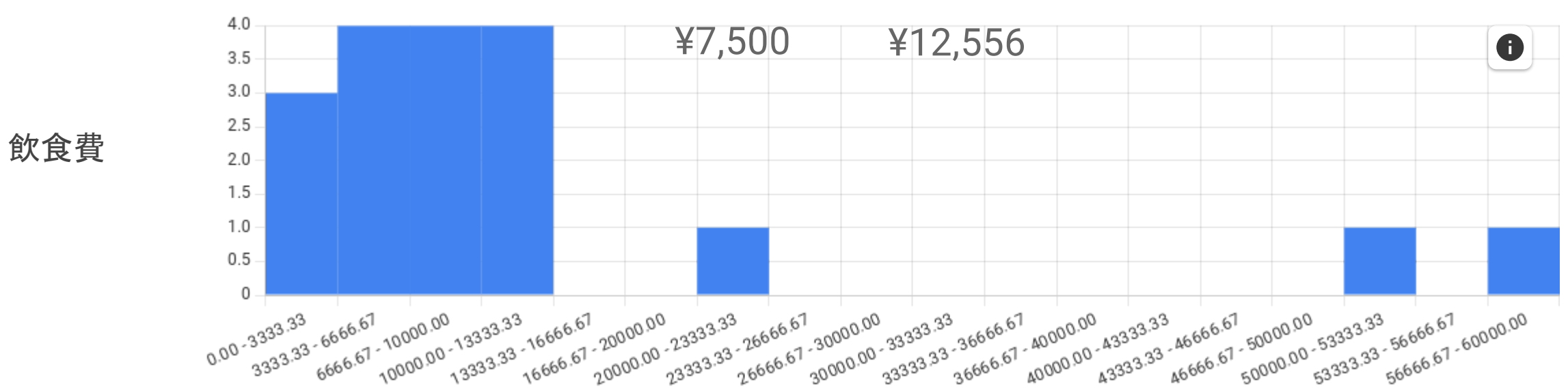
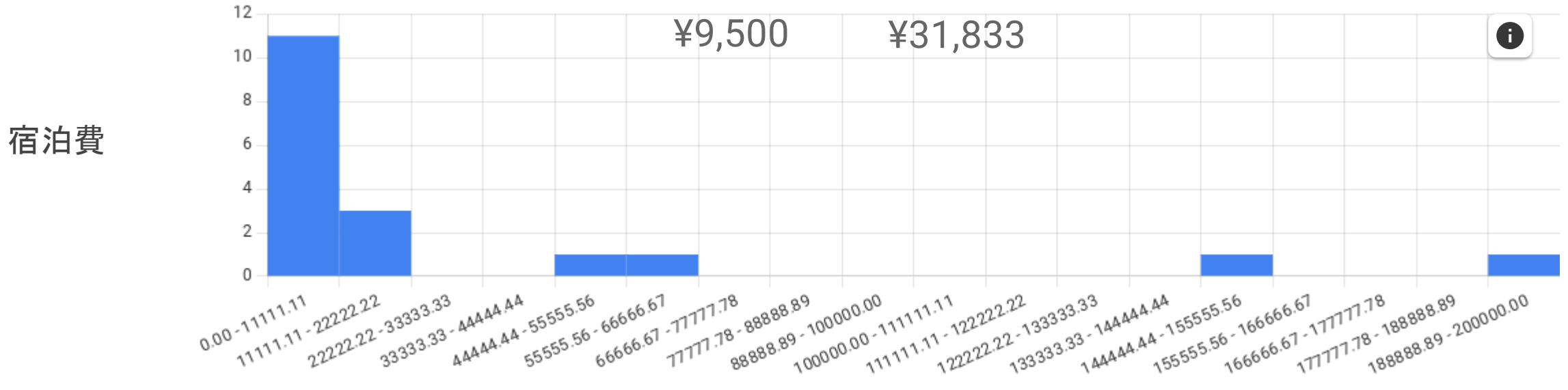
消費額（山梨県）ー全体ー



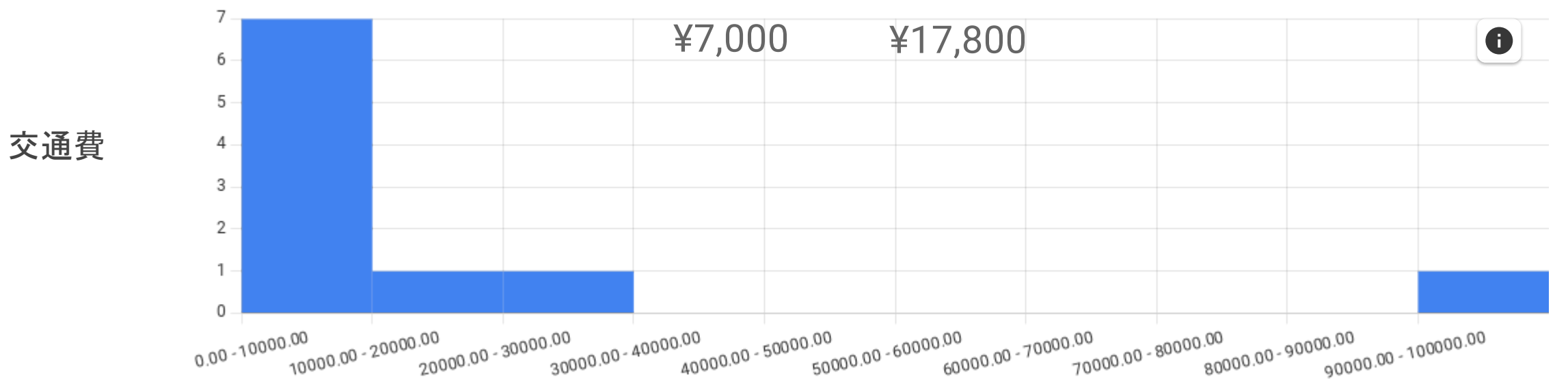
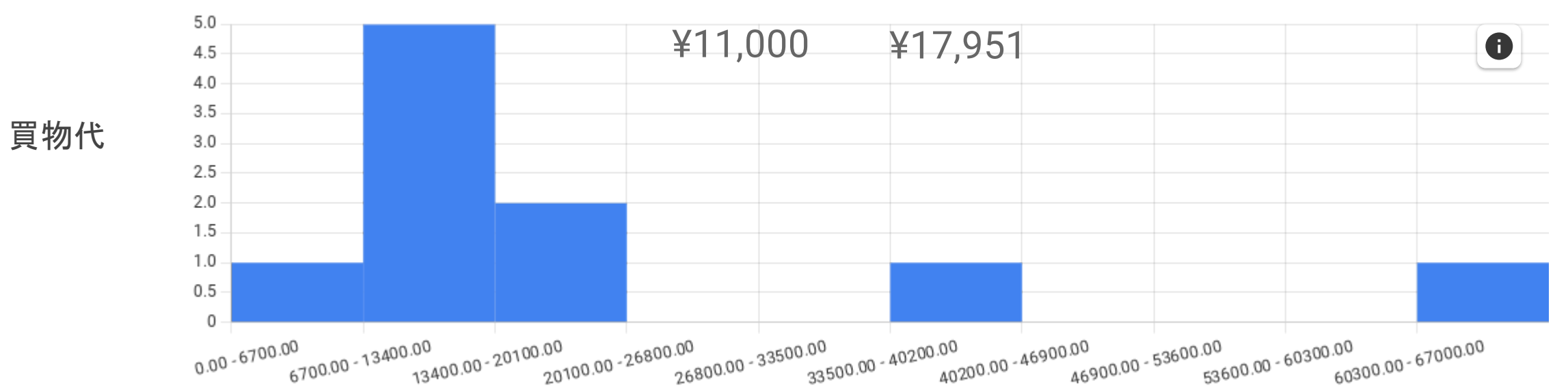
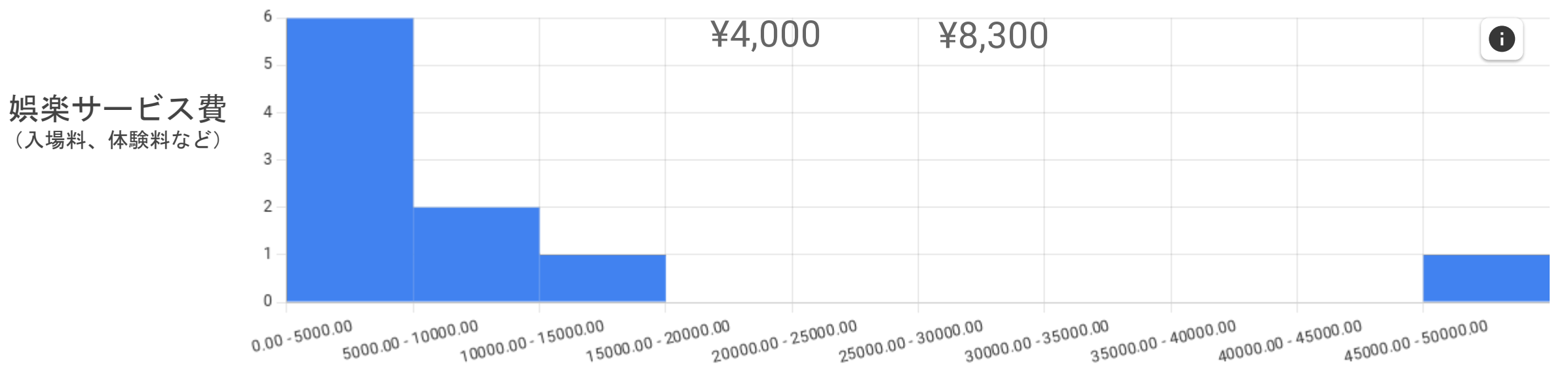
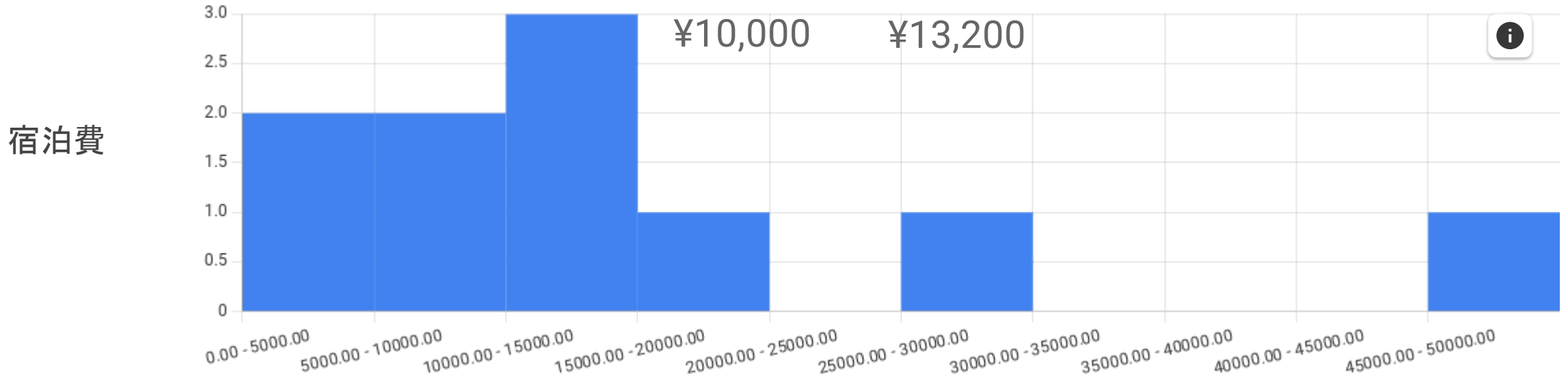
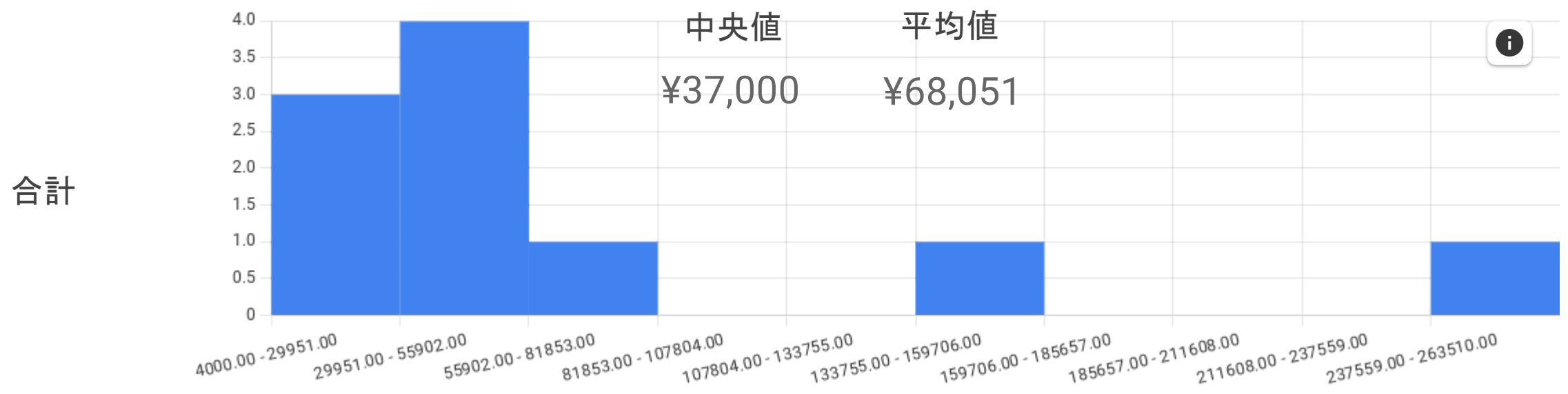
消費額（山梨県）ーソウル便一



消費額（山梨県）—台湾便—



消費額（山梨県）—上海便—



2024 富士山静岡空港
訪日客実態調査
報告書

2024（令和6）年4月

公益財団法人するが企画観光局
（地域連携DMO）

〒420-0837 静岡市葵区日出町1-2 TOKAI 日出町ビル9階

TEL 054-204-6677（調査戦略室）

FAX 054-205-3639

MAIL info@suruga-mtb.or.jp